# 2017年度

# 多摩美術大学

# 美術学部

# 推薦入学試験

# 学生募集要項

## 目次

学長からのメッセージ ……02
多摩美術大学アドミッション・ポリシー ……03
入試コンセプト ……03
募集人員……03
出願資格……04
受験上の配慮について ……06
出願期間……06
出願手続……07
入学願書・受験票記入例（推薦入学試験）……10
受験上の注意 ……12
受験票について ……12
入学試験会場 ……12
試験当日の実施情報 ……12
入学試験／絵画学科日本画専攻 ……13
入学試験／絵画学科油画専攻 ……15
入学試験／絵画学科版画専攻 ……17
入学試験／彫刻学科 ……19
入学試験／工芸学科 ……21
入学試験／グラフィックデザイン学科 ……23
入学試験／生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻 ……25
入学試験／生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻 ……27
入学試験／環境デザイン学科 ……29
入学試験／情報デザイン学科（メディア芸術コース）（情報デザインコース） ……31
入学試験／芸術学科 ……33
入学試験／統合デザイン学科 ……35
入学試験／演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース）（劇場美術デザインコース）…37
合格発表……40
入学手続期限 ……40
学費 ……40
入学前プログラム ……41
入学 ……41
おことわり ……41
個人情報の取り扱いについて ……41
願書提出先および入学試験に関するお問い合わせ先 ……41
美術学部入学試験会場（八王子キャンパス）への交通 ……42
八王子キャンパスマップ ……43
各種奨学金制度および授業料減免制度 ……44
推薦入学試験　よくあるご質問について（Q&A）……45
2017年度　美術学部推薦入学試験カレンダー ……46
各学科専攻ごとの出願書類・送付方法 ……47

## 学長からのメッセージ

多摩美術大学では入学試験の中心であった一般入学試験に加えて、今般、全学的に推薦入学試験を導入することになりました。はじめに本学がなぜそのような方向に踏み出したのか、推薦入学試験の受験者にどのようなことを期待しているのかという、大枠の理念について説明しておくことにしましょう。

本学は81年前の創設以来、一貫して「自由と意力」をモットーに掲げ、文化芸術や産業界のさまざまな分野を先導的に切り開くバイタリティーに富んだ個性的な人材を輩出してきました。入学者の選抜に当たって、一律の基準ではなく多様なる資質を評価することに努めているのも、教育を通じて文化芸術の豊かなる多様性を維持発展させることが社会における本学の重要なミッションの一つであると考えてきたからなのです。

しかし昨今のグローバリズムの台頭や情報環境の変化、AI（人工知能）の急速な進展などは、大学が置かれた状況にも大きな影響をもたらしており、本学ならではの使命を果たすためには、時代の変化に応じたカリキュラムの改変はもちろんのこと、入学試験においても積極的な見直しが必要とされています。推薦入学試験の全学的な実施はその一環であり、変化の度合いを速めつつある社会に柔軟に対応し活躍しうる人材の育成という目標に即して、受験者の評価の基準のさらなる多元化を推し進めるための方策をなすものです。

推薦入学試験ではそれぞれの分野で望まれる資質、そこで学ぶ積極的な意欲、将来への明確な姿勢などが問われることになります。それと同時に重視されるのは高等学校等での学習の実績とクラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動などの課外活動です。また展覧会や各種のコンクールへの参加、関心のある芸術分野の鑑賞など、校外での活動にも積極的に取り組んでください。

私たちが推薦入学試験を受験する皆さんに期待しているのは、何かキラッと輝くものが見て取れるか、興味のあることを主体的に学び、また制作しようとする強い意志をもっているかということです。もちろん何を専攻するにしても基礎となる学力は必要であり、デッサン力などの基本的なスキルを学んでおくことも大切です。こうしたことが総合的に問われる推薦入学試験への、若い皆さんの意欲的な挑戦を心待ちにしています。

多摩美術大学　学長　建畠　哲

## 多摩美術大学アドミッション・ポリシー

・芸術に対して広い視野を持つ人
・自由な発想を持つ人
・国際的な活躍を期待できる人
・想像力・表現力・審美眼をそなえた人
・自ら、芸術を切り拓く意力のある人

## 入試コンセプト

本学は、変化の度合いを速めつつある社会環境にあって、文化芸術のさまざまな分野、さまざまな局面で活躍しうるバイタリティーに富んだ多様なる人材を育成することを重要なミッションとして掲げてきました。

入学者の選抜にあたっても、評価の尺度の多元性を重視していますが、次年度に全学的に導入する推薦入試はその意図をさらに先へと進めるものです。

この入学試験にあっては当然ながら一律の能力ではなく、それぞれの分野で望まれる資質、そこで学ぶ積極的な意欲、将来への明確な姿勢などが総合的に問われることになります。

## 募集人員

| 学科・専攻・コース | | 方式 | 募集人員 |
|---|---|---|---|
| 絵画学科 | 日本画専攻 | 推薦Ⅰ方式 | 若干名 |
| | 油画専攻 | 推薦Ⅱ方式 | 10名 |
| | 版画専攻 | 推薦Ⅰ方式 | 7名 |
| 彫刻学科 | | 推薦Ⅰ方式 | 4名 |
| 工芸学科 | | 推薦Ⅰ方式 | 20名 |
| グラフィックデザイン学科 | | 推薦Ⅱ方式 | 18名 |
| 生産デザイン学科 | プロダクトデザイン専攻 | 推薦Ⅱ方式 | 12名 |
| | テキスタイルデザイン専攻 | 推薦Ⅱ方式 | 8名 |
| 環境デザイン学科 | | 推薦Ⅱ方式 | 15名 |
| 情報デザイン学科 | （メディア芸術コース） | 推薦Ⅰ方式 | 8名 |
| | （情報デザインコース） | 推薦Ⅰ方式 | 8名 |
| 芸術学科 | | 推薦Ⅱ方式 | 5名 |
| 統合デザイン学科 | | 推薦Ⅱ方式 | 12名 |
| 演劇舞踊デザイン学科 | （演劇舞踊コース） | 推薦Ⅱ方式 | 20名 |
| | （劇場美術デザインコース） | 推薦Ⅰ方式 | 6名 |

※推薦入学試験の合格者については、選考結果によって募集人員に満たない場合があります。
※工芸学科の推薦入学試験の募集人員の内訳は陶/ガラス/金属、各6〜7名です。

## 出願資格

**[推薦Ⅰ方式]**　　高等学校課程の学校長の推薦は不要です。

→ **絵画学科日本画専攻・版画専攻、彫刻学科、工芸学科、情報デザイン学科（メディア芸術コース／情報デザインコース）、演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）**

次の「1」「2」のいずれかに該当する者。

1. 日本国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者または特別永住者を含む）で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる、以下の①～⑧のいずれかに該当する者、または2017年3月31日までにこれに該当する見込の者。
2. 日本国籍を有しない者および日本国の永住許可（特別永住者を含む）を得ていない者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる、以下の①②⑤⑥⑦⑧のいずれかに該当する者または2017年3月31日までにこれに該当する見込の者。

① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者。
② 日本における通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
⑥ 文部科学大臣の指定した者。
⑦ 高等学校卒業程度認定試験による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧課程による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者。

※推薦入学試験と帰国生入学試験の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できる。

**［推薦Ⅱ方式］**　高等学校課程の学校長の推薦を必要とします。

→ **絵画学科油画専攻、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻・テキスタイルデザイン専攻、環境デザイン専攻、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース）**

次の「1」「2」すべてに該当する者。

1. 出願学科を専願し、強く学ぶことを希望する者で、本入学試験に合格した場合に入学を確約できる者。
2. 高等学校課程の出身学校長の推薦を受けることができる、次のいずれかに該当する者。

→ **生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻、環境デザイン学科、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース）**

① 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を2016年3月に卒業した者または2017年3月に卒業見込の者。

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2015年4月1日から2017年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。

→ **絵画学科油画専攻、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻**

③ 日本における高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者または2017年3月に卒業見込の者。

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2017年3月31日までに修了する者またはこれに該当する見込の者。

※演劇舞踊デザイン学科演劇舞踊コースを出願する者は、調査書全体の評定平均値が3.5以上の者。

※推薦入学試験と帰国生入学試験の出願資格を有する者はいずれかの入学試験のみ出願できる。

**個別の出願資格審査実施要項**

推薦入学試験「推薦Ⅰ方式」を『出願資格２-⑧』により出願する者については個別の出願資格審査を行いますので、以下の実施要項に従い出願してください。

1. 個別の出願資格審査の対象者（多摩美術大学学校教育法施行規則第150条第7号により個別の入学資格の認定を受けようとする者）
   - 次の(a)、(b)いずれかに該当する者。
     (a)高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込の者
     (b)各種の学校等での学習歴が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者
   ※日本の高等学校を卒業した者または卒業見込の者は該当しません。
2. 申請期間および申請書類の郵送先
   - 個別の出願資格審査の対象者は、以下の申請期限までに申請書類を簡易書留等記録が残る方法で、申請先まで郵送（最終日のみ持参可）してください。その際、封筒表面に「大学出願資格認定書交付申請」と朱書してください。
   - 申請書類提出期限
     2016年9月28日（水）17：00
   - 申請先
     〒192-0394　東京都八王子市鑓水2-1723
     多摩美術大学入学センター　宛
     電話：042-679-5602

3. 申請手続書類

以下の書類を取り揃え、申請してください。

※申請手続書類は英語もしくは日本語に限ります。その他の言語の場合は、公的機関で認証を受けた日本語の翻訳文を添付してください。

(1) 出願資格審査申請書（本学所定用紙）

以下のアドレスよりダウンロードしてください。

http://www.tamabi.ac.jp/admission/extra/screening.htm

ダウンロードが出来ない場合は上記の「申請先」まで連絡ください。

(2) 本実施要項1.(a)に該当する者

・当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの

・当該学校の教育内容等を証明できるもの

（修業年限、開設科目、授業概要、授業時間数など学習内容がわかるもの）

・卒業証明書または卒業見込証明書

・成績証明書

(3) 本実施要項1.(b)に該当する者

・各種の学校等での学習歴が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

4. 出願資格審査の方法

出願資格審査は、申請書類により行います。

5. 出願資格審査基準

(1) 本要項1.(a)の申請者

・申請者の当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているか確認し、高等学校と同等以上の学力があるかを審査します。

(2) 本要項1.(b)の申請者

・申請者の学習歴について確認し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

6. 出願資格審査の結果

出願資格審査の結果は、出願期間前に、申請者宛に郵送により通知します。出願資格を認められた者については、「多摩美術大学出願資格認定書」を同封します。

7. 多摩美術大学入学試験の出願について

「多摩美術大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学試験に出願することができます。出願の際は、必ず「多摩美術大学出願資格認定書（写）」を添付してください。

## 受験上の配慮について

身体機能に障がいがあるなど、受験上および修学上特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち、9月27日（火）までに必ず入学センター［電話：042-679-5602］まで問い合わせてください。

なお、入学試験直前に骨折するなど、緊急に受験上特別な配慮が必要となった場合についても、至急、上記問い合わせ先までご連絡ください。

## 出願期間

**2016年10月17日（月）から2016年10月26日（水）まで（郵送必着）**

## 出願手続

次の中で該当する全ての書類を表面に「封筒表面用紙」[63ページ] を貼った封筒等で一括郵送してください。「13.出願時における提出物」の無い学科（情報デザイン学科を含む）は角2サイズ以上の封筒で、「13.出願時における提出物」が有る学科（情報デザイン学科を除く）はマチ付の角2サイズ以上の封筒で送付してください。送付については47ページを参照してください。

### ＝出願用本学所定用紙＝

1. **入学願書** [49ページ]
2. **受験票・受験票発行控・振替払込請求書兼受領証** [50ページ]
3. **履歴書** [51ページ]
4. **志望理由書** [52ページ]　「志望理由」を記入欄に詳しく記入してください。

→ **絵画学科日本画専攻・油画専攻・版画専攻、彫刻学科、工芸学科、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻、環境デザイン学科、情報デザイン学科（メディア芸術コース／情報デザインコース）、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース／劇場美術デザインコース）**

5. **自己アピール文** [54ページ]　「自己アピール文」を自由に記入してください（500字以内）。

→ **生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻**

6. **誓約書** [55ページ]
7. **推薦書(推薦Ⅱ方式出願者のみ)** [56ページ]
8. **宛名記入用紙** [62ページ]
   －住所Aに『受験票受取先住所』を、住所Bに『入試結果通知受取先住所』を記入してください。
9. **封筒表面用紙** [63ページ]
   －住所、氏名、電話番号を記入し、志望学科（専攻・コース）の□を■に塗ったものを封筒等に貼り付けてください。

### ＝出願者が用意するもの＝

**10. 振替払込請求書兼受領証のコピー（検定料35,000円）**

郵便局窓口備え付けの「払込取扱票」を使用し、以下の情報を記入して払い込みしてください。

| | |
|---|---|
| 口座記号･口座番号 | 00100 - 8 - 85550 |
| 加入者名 | 学校法人　多摩美術大学 |
| 金額 | 35,000円 |
| 通信欄 | 「2017年度 多摩美術大学 推薦入学試験 検定料」と記入してください。 |
| ご依頼人 | おところ、お名前・フリガナ・電話番号を記入してください。 |

－払い込み後に「振替払込請求書兼受領証」が返却されます。
出願の際は、「振替払込請求書兼受領証」の コピー を「振替払込請求書兼受領証コピー貼付（50ページ）」に貼付けて提出してください。

－郵便局の受付局日附印が無い場合は無効です。

－検定料の払い込みは2016年10月11日（火）より受け付けます。

**11. 写真（コピー不可）**

－同一のもの3枚（入学願書、受験票、受験票発行控に貼付）。

－半身像、無帽、無背景、縦4cm×横3cm、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。

－裏面に志望学科、氏名を必ず記入してください。

－入学願書に貼付された写真を利用して、入学から卒業まで使用する学生証を作成します。

**12. 出身高等学校の調査書（1通）**

**［推薦Ⅰ方式］**

(1) 最近3ヶ月以内に発行されたもの。

(2) 高等学校卒業者（見込者）および高等専門学校3年修了者（見込者）は、出身学校長が作成する調査書（開封無効）。

(3) 外国における12年の課程を修了した者（見込者）は、修了（見込）証明書と成績証明書。ただし、日本と外国の両方の高等学校に在学した者は、日本の高等学校在学中の調査書も提出してください。

(4) 高等学校卒業程度認定試験合格者および大学入学資格検定試験合格者は、合格成績証明書（合格証明書ではありません）。合格見込者は、合格見込成績証明書。なお、免除科目がある場合は高等学校で発行するその科目の成績証明書もしくは調査書を提出してください。

(5) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者は、多摩美術大学出願資格認定書（写）を提出してください。

(6) 調査書の保管期間を経過した場合および廃校・被災等により調査書の入手が不可能な場合には、これに代わる卒業証明書・成績証明書等を提出してください。なお、成績証明書も提出困難な場合は、その旨の証明書を提出してください。

**［推薦Ⅱ方式］**

(1) 最近3ヶ月以内に発行されたもの。

(2) 高等学校卒業者（見込者）および高等専門学校3年修了者（見込者）は、出身学校長が作成する調査書（開封無効）。

(3) 調査書の保管期間を経過した場合および廃校・被災等により調査書の入手が不可能な場合には、これに代わる卒業証明書・成績証明書を提出してください。なお、成績証明書も提出困難な場合はその旨の証明書を提出してください。

**13. 出願時における提出物（出願書類に同封すること）**

→ **〔絵画学科日本画専攻・油画専攻、彫刻学科、工芸学科、情報デザイン学科（メディア芸術コース／情報デザインコース）、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）〕**

－上記の学科専攻は出願時に資料・課題・作品等の提出が必要です。

－出願時における提出物には必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（57ページ）」を出願書類に同封してください。面接試験時に提出・持参する作品がある学科専攻はその情報も併せて記入してください（46ページ参照）。

－出願時における提出物は、事由のいかんを問わず返却しません。ただし、油画専攻のみポートフォリオを返却します。

－送付方法は47ページを参照してください。不明な点がありましたら、入学センター〔電話：042-679-5602〕まで問合わせてください。

**絵画学科日本画専攻：**ポートフォリオ
※これまでの作品活動歴をA4程度で20～50ページにまとめたもの。

**絵画学科油画専攻：**ポートフォリオ
※形式、サイズ、点数自由。

**彫刻学科：**作品資料（作品写真ファイル、CD、DVDなど）
※作品資料は面接時の資料として使用します。

**工芸学科：**資料（ポートフォリオ、デジタルメディアなど。資料の形式、点数は自由）
※作品、これまでの活動の記録、興味あるものについての資料、文章・コメントなどをまとめてください。

**情報デザイン学科：**オンラインポートフォリオ（提出ではなく、ＵＲＬ等の記載を必要とします）。
※オンラインポートフォリオとは、インターネットで閲覧できる形式のポートフォリオのことです。オンラインポートフォリオの形式や内容は面接時持参の「デジタルメディア作品およびデジタルポートフォリオ」と違うものも可とします。「提出物作成自己証明書」には、10月27日（木）～11月7日（月）の期間中、閲覧できるＵＲＬ等、必要な情報を記入してください。

**芸術学科：**提出課題
課題：「空想の○○○」のプロデューサーとして自由にプランを企画してください。
1. 表紙（A4縦1枚に横書き）に、「企画タイトル」、「氏名」を記入してください。
2. ①「企画タイトル」、②「意図（500字程度）」、③「内容（1,500字程度）」をA4縦数枚に横書きでまとめてください。
3. 課題の用紙下部にはページ番号をつけてください。

〈注意事項〉
・課題の「○○○」には、展覧会、書物、上映会、コンサート、イベントなど、プロデューサーを必要とするものなら何を入れても構いません。
・「意図」では誰に何を伝えたい企画か、「内容」では、期間、場所、構成プラン、作品などのイメージをなるべく具体的に書いてください（図を使っても構いません）。
・プリントアウトでも手書きでも構いません。
・上記の項目以外に必要な場合は、別に図版、映像などを添付しても構いません（紙の場合はA4サイズで、その他のメディアの場合はCDかDVD1枚まで）。

**統合デザイン学科：**自己アピール書類
・A4サイズの任意の書式で、文章と図や写真などを用いて自己アピールする内容をまとめてください（枚数は自由、内容に対して適切な枚数にまとめること）。

〈注意事項〉
・自己アピールに過去の活動や受賞歴の記載が含まれる場合は、内容を証明できる書類（コピー可）を必ず同封してください。

**演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース）：**ポートフォリオ
※これまでの作品をまとめたもの（サイズ・点数は自由）。

**※「出願時における提出物」の他に学科専攻によっては面接試験時に作品等を提出・持参する必要があります。詳細は学科専攻ごとに「入学試験」（13～39ページ）の「試験科目・持参するもの」で確認してください。**

注意：出願書類に不備・不足があった場合は、原則として受理しません。
：出願書類提出後の志望学科、専攻、コースおよびプログラムの変更は認めません。
：いったん受理した出願書類および検定料は事由のいかんを問わず返還しません。
：入学志願者と調査書等の姓または名が異なる場合は、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください。
：出願書類に虚偽の記載をした場合は入学取消もしくは退学となることがあります。
：「志願者アンケート」［64ページ］は、多摩美術大学に入学する基礎資料を得るためのものであり、統計資料以外の目的には使用しません。また、合否判定には一切関係ありませんのでご協力をお願いいたします。

# 入学願書・受験票記入例（推薦入学試験）

○以下の記入例を参照して、願書・受験票に記入してください。
○黒インクまたは黒ボールペンを用いて、楷書で丁寧に記入してください。
○消せる筆記具（フリクションボールなど）で記入しないでください。

## 入学願書

**写真**
入学願書、受験票、受験票発行控には同じ写真を３枚貼ってください。

※受験番号

**2017年度　多摩美術大学美術学部 入学願書**

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| フリガナ | タ マ ビ | | | | | | | ヨ シ オ | | | | | |
| 氏名 | 多摩美 | | | | | | | 美 雄 | | | | | |
| 生年月日 | 年 | | | 月 | | 日 | | 年齢 | 才 | 性別 | ○で囲む | | |
| | 1 | 9 | 9 | 8 | 0 | 6 | 2 8 | | 1 8 | | (男) | 女 | |
| 出身学校の卒業（見込）年月 | 年 | | | | 月 | | いずれかを○で囲む | | | | | | |
| | 2 | 0 | 1 | 7 | 0 | 3 | 卒業見込 | 卒業 | | | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 志望学科・専攻 | 工 芸 | 絵画学科・生産デザイン学科のみ記入<br>学科　専攻 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 志望プログラム | 工芸学科のみ○で囲む<br>工芸学科<br>・陶　・ガラス　・(金属) | 志望コース | 情報デザイン学科および演劇舞踊デザイン学科のみ○で囲む<br>情報デザイン学科<br>・メディア芸術コース<br>・情報デザインコース<br>演劇舞踊デザイン学科<br>・演劇舞踊コース<br>・劇場美術デザインコース |

| | | |
|---|---|---|
| 選択科目 | プロダクトデザイン専攻のみ○で囲む<br>A．書類審査＋アイデア／プロセス＋プレゼンテーション面接<br>B．書類審査＋スケッチ／デッサン＋プレゼンテーション面接 | テキスタイルデザイン専攻のみ○で囲む<br>A．小論文＋鉛筆デッサン＋面接<br>B．小論文＋色彩構成＋面接 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 本人現住所 | 7 9 2　0 3 9 4<br>東京都八王子市鑓水2-1723 | Tel. | 0 4 2 − 6 7 9 − 5 6 0 2 | | |
| | | 携帯電話 | 0 9 0 − X X X X − ○ ○ ○ ○ | | |
| | | e-mail | tamabiyoshio @ tamabi.ac.jp | | |
| 緊急連絡先（日本国内） | 7 5 8 − 8 5 5 8<br>東京都世田谷区上野毛3-15-34 | 自宅以外で連絡できる住所と電話番号（携帯電話可）を必ず記入してください（例：昼間連絡できる保護者の勤務先や親類等） Tel. | 0 3 − 3 7 0 2 − 9 4 0 4 | | |
| | | 氏名 | 多摩美 一郎 | 続柄 | 父 |

**●出願時における提出物や面接試験に提出・持参する作品等について記入してください**

| 資料・課題・作品　等 | 形式 | 点数 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ポートフォリオ「私の記録」 | A4ファイル | 1 | |
| Yoshio Works 2014〜2016 | DVD | 1 | |

注意：楷書で正しく記入してください（黒ボールペン使用）。消せる筆記具（フリクションボールなど）で記入しないでください。
：※印欄は記入しないでください。
：出願後は、提出作品資料の追加ならびに変更は認めません。

**志望学科・専攻・コース**
03ページを参照して、志望学科・専攻を記入してください。絵画学科と生産デザイン学科は「専攻」を記入、工芸学科は「プログラム」を、情報デザイン学科と演劇舞踊デザイン学科は「コース」を○で囲んでください。

# 受験票・受験票発行控・振替払込請求書兼受領証コピー貼付

写真
入学願書、受験票、受験票発行控には同じ写真を３枚貼ってください。

推薦入学試験

2017年度
多摩美術大学 美術学部 受験票

※受験番号

| | | |
|---|---|---|
| 志望 | 工　芸 | 学科 |
| | 金　属 | 専攻 / コース / プログラム |
| フリガナ | タ　マ　ビ　　ヨ　シ　オ | 性別 |
| 氏名 | 多摩美　美雄 | 男・女 |

※印欄は記入しないでください

試験場において本人と写真を照合します。

注意
1. 試験開始30分前までに必ず試験場に入場してください。
2. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。
受験票を忘れた場合は入学センターに申し出てください。
3. 試験中は大学係員の指示・注意に従ってください。
4. 試験中、指定された位置に受験票を提示してください。
5. 用具の貸し借り、共用は認めません。
6. 試験中は携帯電話・ＰＨＳ等の電源を必ず切ってください。
7. 受験票の紛失等、事故のあった場合は大学係員に申し出てください。
8. 受験票は入学時まで必要なので大切に保管してください。
9. 試験当日の実施情報は以下のＵＲＬをご覧ください（携帯電話・ＰＣ可）。
http://tamabi.ac.jp/adm

試験会場：多摩美術大学八王子キャンパス

切りはなさないこと

※受験番号

推薦入学試験

2017年度 受験票発行控

| | | |
|---|---|---|
| 志望 | 工　芸 | 学科 |
| | 金　属 | 専攻 / コース / プログラム |
| フリガナ | タ　マ　ビ　　ヨシ　オ | 性別 |
| 氏名 | 多摩美　美雄 | 男・女 |

※印欄は記入しないでください

切りはなさないこと　　切りはなさないこと

推薦入学試験

## 振替払込請求書兼受領証
## コピー貼付

● 郵便局で検定料を払い込んだ後に返却される「振替払込請求書兼受領証」のコピーを右に貼ってください（原本は受験生本人が保管してください）。

振替払込請求書兼受領証

| | | |
|---|---|---|
| 口座記号番号 | 00100-8 | |
| | 85550 | |
| 加入者名 | 学校法人 多摩美術大学 | |
| 金額 | 千 百 十 万 千 百 十 円 | 3 5 0 0 0 |
| ご依頼人 | ※おなまえ 多摩美　美雄 様 | |
| 料金 | （消費税込み） 円 | 日附印 |
| 備考 | | 八王子美 28.XX.15 8-12 |

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

07ページ【出願手続】にしたがって、振替払込請求書兼受領書の「コピー」を貼り付けてください。原本は本人控えとして大切に保管してください。

## 受験上の注意

1. 必ず試験開始30分前までに試験場に入場してください。
2. 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
3. 遅刻した場合は、いかなる理由であっても試験時間は延長しません。
4. 1科目でも試験を受けないと失格となり、以降の試験は受けられません。
5. 受験票を持参しないと試験場に入場できません。受験票を忘れた場合は係員に申し出てください。
6. キャンパス内では大学係員の指示、注意に従ってください。
7. 試験が午後にわたる場合は昼食を持参してください。キャンパス外に出ることはできません。
8. 実技試験の用紙等は大学で用意します。
9. 用具などの貸し借り、共用は認めません。
10. 答案用紙の指定欄以外に本人の氏名や受験番号等を記載しないでください。
11. 各自の試験場および指定された場所以外には立ち入らないでください。
12. 試験場内には時計はありません。必要な方は各自持参してください。ただし、携帯電話やスマートウォッチおよび計算・辞書・通信・撮影・アラーム機能などがある時計の使用は禁止します。また、秒針音の大きな時計は使用できない場合があります。
13. 試験中は、通信機器（携帯電話・PHS・PC等）の電源を必ず切ってください。
14. キャンパス内に自動車等車両の乗り入れはできません。
15. **試験当日、大学や最寄駅周辺において、合否連絡を扱っている業者があっても、これらは本学と一切関係がありません。**
16. 感染症（学校保健安全法で出席の停止が定められているインフルエンザ、麻疹（はしか）等）に罹患した場合、他の受験生や試験監督者等にひろがる恐れがありますので、原則として受験できません。
17. 天候や公共交通機関の乱れにより、試験の開始や終了の時刻、試験時間を調整することがあります。
18. 本要項に変更があった場合は、試験当日指示します。

## 受験票について

1. 受験票は2016年11月5日（土）までに届くように発送いたします。同日までに届かない場合は、早急に入学センター［電話：042-679-5602］まで申し出てください。
2. 受験票が届いたら、必ず開封して内容を確認してください。
3. 受験票は入学式当日まで必要なので、大切に保管してください。
4. 受験票は再発行しません。

## 入学試験会場

**多摩美術大学八王子キャンパス　東京都八王子市鑓水2-1723**

※42ページ『美術学部入学試験会場（八王子キャンパス）への交通』参照

## 試験当日の実施情報

推薦入学試験の当日の実施に関する情報を下記のWEBサイトで確認できます。天候や公共交通機関の運行状況等により、試験開始時間に変更がある場合はこちらでお知らせします（携帯電話からも参照可）。
http://tamabi.jp/adm/

## 入学試験／絵画学科日本画専攻

### 学科・専攻の特色

日本の豊かな風土と文化に培われ、独自の美意識を育んできた日本画。同時に、それは伝統の継承にとどまらず、新たな表現の地平を切り開く奥深さも備えています。とくに本学の日本画専攻は、建学以来現在まで自由な発想をもち、自ら新しく芸術を切り開く意力に満ちた気風があり、これまでに一線で活躍する作家を多く輩出してきました。現在でも多様で豊かな個性をもった卒業生が、日本画の領域にとどまらずさまざまな分野で存在感を示しています。

### 推薦入学試験選抜方針

今までの入学制度では選抜できなかった、自由と意力に満ち創造力豊かな人材を発掘するため、新たに自己推薦による入学試験を設けます。多様な個性、豊かな感性を求めます。絵画と本気で向き合う人を望んでいます。

推薦入学試験では、実技試験「水彩『人物』」「面接」と提出の「作品」「ポートフォリオ」によって総合的に審査します。とくに提出してもらう「作品」では、技術力のみならず、自らの個性が息づいているような絵画作品を求めます。「ポートフォリオ」では、普段の創作活動がわかるように作品の写真または現物、画歴等をファイルしてください。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

個性的で自由闊達な創造性を育てるためにも、作品制作を通して基礎的な絵画力、デッサン力を身につけてほしいと思います。

その他、さまざまな美術に触れ、いろいろなものに感動できる新鮮な感性を育ててください。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 水彩「人物」 | 10:00～17:10［6時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 13:00～16:00 |

11月12日（土）の12:30～13:40は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●水彩「人物」**――――水彩用具一式、鉛筆、消具、ナイフ、フィクサティフ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

**●面接**――――絵画作品50号程度１点（作品の素材・技法は問わない）

※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（57ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

## 提出作品について

提出作品は基本的に当日持参が望ましいが、事前送付の受付も可能です。

事前送付する際は、11月11日（金）または12日（土）の［10:00～12:00、13:00～16:00］必着で郵送してください。

なお、事前送付の場合は事前に研究室に連絡してください。

作品の開梱は13日（日）の面接試験当日に受験生自身が行ってください。

・作品送付先／連絡先

〒192-0394　東京都八王子市鑓水2-1723 多摩美術大学 日本画研究室 TEL042-679-5619

作品の搬出については、面接試験終了後、17:00までに行ってください。

外部業者等を利用して搬出する場合は受験生自身が事前に手配しておいてください。

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

ポートフォリオ・作品、水彩「人物」、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| ポートフォリオ・作品 | ・普段の活動歴<br>・柔軟な発想力・表現力 |
| 水彩「人物」 | ・観察力・描写力・色彩感覚・構成力 |
| 面接 | ・人間性 |

## 入学試験／絵画学科油画専攻

### 学科・専攻の特色

油画専攻は、建学以来いつの時代もそれぞれのムーブメントの先頭に立って発言する作家たちを輩出してきました。とくに戦後の日本現代美術界における本専攻出身の「もの派」の作家たちの活躍は、今まさに世界から評価を受け注目されています。また、現在さまざまな美術コンクールや公募展が林立しているなかにおいても、多くの卒業生が優秀な成績を収め存在感を示しています。

われわれは今後とも、国際的視野をもち、絵画に基盤をおきながらも多様な表現メディアによって、日本の芸術文化に貢献する個性的な作家を育てることを目標としています。

入学試験では、本専攻の教育方針に賛同し、現代の芸術文化に貢献する意欲のある受験生を希望します。しかし、美術作家として有名になることだけが成功や評価に値することではありません。美術表現を探求することによって、自らの存在と社会との関係を自覚し、ひとりの人間として自立していくことがもっとも大切なことであり、そのうえで表現者としての第一歩が始まります。その土台を作ることも私たちの教育の大きな役割と考えています。今後、さらに高等学校や諸機関等との教育的連携を強め、造形的基礎訓練の継続性を大切にし、表現活動を続ける弾力性ある人材を育成していきたいと考えています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、真摯な姿勢で美術と向き合い、豊かな感性と知性をもった個性あふれる人材の発掘をめざします。高等学校等の在籍中より積極的に絵画・美術作品制作に取り組み、現代の芸術表現をリードしていこうとする意欲をもち、また制作技能に秀でた人を求めます。その期間における展覧会などの発表歴や、美術コンクールなどにおける受賞歴も評価します。造形的基礎訓練を積み重ね、持続性をもって作品制作に取り組む態度は、未来をひらく自由でいきいきした創造を生み出すための基盤になります。

これら資質や能力を「面接」と提出してもらう「作品」「ポートフォリオ」「書類」で、総合的に判断し選抜します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「美術」の授業だけでなく課外活動においても、自ら積極的に美術と出会い触れ合う機会をもつことを望みます。絵画制作能力を高めるためには、描写などの造形的基礎訓練のみならず日常的に絵を描く意識で身近なものを見ることが必要になります。美術館などで実際の作品に触れることや、絵画や彫刻などの美術史を学んで大きな美術の流れを理解しておくことも大切です。また、絵画制作において、例えば風景、植物、人体などを対象として制作する際、画像などを利用して描くのではなく、自身の肌で感じ、自身の目で見て制作するよう心がけてください。そのものの存在や自分との関係性を含め、大きな意味で世界の構造を捉えていくことが重要です。

また、展覧会などで作品を発表する機会があれば積極的に取り組むことも期待しています。それは、個人的な表現が周りの人とのコミュニケーションにつながっていることに気づく貴重な体験になります。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は提出作品受付時に指示 |

## 試験科目・提出するもの

**●面接**――――――①油彩S100号以下２点以内（2015年以降に制作されたもの）
②ドローイングファイル１冊（デッサン、水彩等10枚程度をまとめたもの、サイズ：65×50cm以内）
※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（57ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

※上記規定作品以外の立体作品や映像作品等を提出希望の場合、および規定サイズに収まらない場合は事前に研究室まで問合せてください。

## 提出作品（油彩・ドローイングファイル）の受付について

本人持ち込みの場合

・提出作品の受付は11月11日（金）、12日（土）［10:00～12:00、13:00～16:00］の２日間です。
・その場で本人が開梱し提出してください。

運送業者委託の場合

・郵送先　〒192-0394　東京都八王子市鑓水2-1723　多摩美術大学　油画研究室　電話：042-679-5620
・11月11日（金）、12日（土）［10:00～12:00、13:00～16:00］必着のこと。
・事前に研究室に届け出してください。
・上記時間内に受験生自身が来学し本人が開梱し提出してください。
・作品の返送については、面接試験終了後、本人が梱包し業者等の手配をしてください（翌日午前中までの集荷には対応します）。

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

面接・作品・ポートフォリオ・書類

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 面接・作品・<br>ポートフォリオ・書類 | ・提出作品に対する総合的評価<br>・制作に対する意欲<br>・コミュニケーション能力<br>・展覧会発表歴あるいは受賞歴 |

## 入学試験／絵画学科版画専攻

### 学科・専攻の特色

版画専攻においては、全国でもっとも早くから銅版画・木版画・リトグラフの専門的な版画教育に取り組み、「多摩美の版画」という独自の技法や表現を確立してきました。そして、国内外の展覧会やコンクールなどで受賞歴をもち、国際的に活躍の場を広げている卒業生を多く輩出しています。そのなかには世界各国からの留学生も含まれ、彼らのほとんどは帰国後もそれぞれの国で作家や教育者として大きな役割を果たしています。

また、世界でも類を見ない充実した設備を揃えた環境のなかで、ドローイングなどの基礎教育から始まり、理論と実践の両面において版を自在に操る能力の習得、さらには作家として必要な空間概念や自由な造形能力を身につけ、国際的な視野をもつ表現者の育成を実現しています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、一般入学試験で評価しきれない「能動性」「広い視野と個性」をもった意欲的な人を求めます。新しい表現と出会いたいと思うこと、自分から動こうとする力が自立した表現者としての道筋になると考えています。そして作品と向き合っていくなかで培われていく思考力や持続力が自らの社会性を養うことになります。さらに、高等学校等とも教育的な連携を進めながら、真摯な姿勢で制作と向き合う個性豊かな人材の発掘をめざしています。

実技試験「デッサン」は、一般入学試験では、開設以来、一貫して言葉によるテーマを提示し“自由に表現”してもらうことを続けていますが、推薦入学試験では、対象を見つめる力をより重視し“静物”を出題します。基礎的な描写力や造形力を備えているか、制作に対する集中力と持久力があるかを判断します。また提出してもらう「作品」は、これまでに描いた鉛筆または木炭によるデッサンとし、どのような制作をしてきたかを見ながら「面接」を行います。「小論文」では、大学における教養教育を習得するうえで必要な基礎的な能力を幅広く有しているか、持論を有しながら文の構成や考えが的確にまとめられ小論文の体裁として整っているか、版画に対する興味・関心の高さがテーマ設定や文脈から読み取れるかを判断します。

以上のことを総合的に評価し選抜します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

美術館や博物館などに行って、多くの作品や作家に出会い、触れ合う機会をもつことを望みます。そして、ただ漠然と見るのではなく、どんな作品が好きか、美術の歴史はどうなのだろうか、どのような作家に興味をいだくかなど、問題意識をもって作品と向かい合い、自らの思考を深めてほしいと考えます。多くの作品を鑑賞することで“観る”力も備わってきます。そして、自分の言葉で人に伝えることを心がけてください。作品を読み解く力、考えを伝える力は、表現者としての基盤となっていきます。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文<br>デッサン「静物」 | 10:00～11:30［90分］<br>13:00～17:00［4時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●小論文**――――――鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●デッサン「静物」**――カルトンまたはパネル（395～560㎜～420×600㎜）、鉛筆デッサンまたは木炭デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、クリップまたは画鋲、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）、下敷き用紙（無地）

※デッサン用紙は、画用紙または木炭紙からどちらかを試験場内で選択。

※画用紙（B3）、木炭紙（B3）は大学で用意します。

**●面接**――――――作品５点（鉛筆または木炭によるデッサン）

※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（58ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

※作品は面接試験時に返却します。

## 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

小論文、デッサン「静物」、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 小論文 | ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか<br>・版画に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか<br>・大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・持論を有しているか<br>・出題に対して真摯に向き合っているか |
| デッサン「静物」 | ・描写力　構図、立体認識、物質感<br>・観察力　空間把握、物と物との関係を的確にとらえているか<br>・創造性への可能性が感じられるか<br>・新鮮な感覚、感性を持っているか |
| 面接 | ・志望動機が明確であるか<br>・持参した作品を基に、自分の意思を明確に述べられるか<br>・学業や制作に意欲があるか<br>・質問についての理解と返答の正確さ |

## 入学試験／彫刻学科

### 学科・専攻の特色

彫刻芸術は人類の歴史のなかでもっとも古い芸術のひとつであり現在もなお、私たちの遺伝子に脈々と引き継がれた美的表現のひとつとして、文明を多彩に彩っています。その彫刻をひとことで表現すれば「存在の芸術」と言えます。なぜならば、彫刻の材料となるさまざまな物質には宇宙の記憶が、そしてそれを加工する技術には人類の記憶が含まれているのです。よって現代において彫刻を創造することは、あらゆる文化や歴史に触れながら自らの意志を「かたち」に現す芸術と言えるからです。

彫刻芸術の概念は今も求心と拡張を繰り返しながら、さらなる可能性を求めて進化し続けています。そのなかで、私たちは世界に誇る特異で奇抜な伝統的美学を受け継いでいますが、この貴重な文化遺産を礎として、新たな彫刻表現の可能性を模索し世界に発信していかなければなりません。

彫刻学科では伝統と革新を対立項と見なさず、過去に学び未来を創造する我が国独自の芸術家の育成をめざしています。国内外でもトップクラスの設備を備え、塑造・木彫・石彫・金属・ミクストメディアの各領域における専門工房には経験豊かな教員が配属され伝統的な手法から拡張を続ける現代美術まで、基礎課程から学ぶことができます。そして専門課程では、学生自らがめざす領域を自由に選択しながら個々のもつ能力を最大限に発揮できる制作環境を整えています。

「彫刻を学ぶことはすべてを学ぶこと」です。本学科で培ったさまざまな経験は芸術家として、またいろいろな進路の礎となり社会に貢献できることでしょう。

### 推薦入学試験選抜方針

彫刻概念が拡張を続ける現代において、大学入試も変えるべきものと、変えてはならないものがあると考えます。変えるべきものとは、相対的で多様な個性を画一的な基準ではかること。そして、変えてはならないものとは、創造する強い意欲と真摯な眼差しを汲み取る目です。よって実技試験「立体造形・デッサン」では、多様な解釈と自由な表現が可能な課題を課します。さらにこれまでの学びや制作活動が反映された「作品資料」と「小論文」「面接」によって受験生個々のもつ可能性と意欲を多角的に評価し選抜します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

彫刻芸術の概念は進化し続けています。使用される素材も多様化し、身の回りにある物質すべてが彫刻の素材になるといっても過言ではありません。なぜならば、彫刻芸術は絵画芸術とは異なり、日々私たちが生活する時空間上に展開される表現だからです。木や土、石や鉄などの自然素材から現代社会におけるさまざまなメディアとも関わりながら「現在」を表現し、進化を続けている芸術なのです。よって、彫刻学科をめざす人は新たな視点で世界を見つめることが大切です。もちろん、デッサンや塑造など、時代を超えて普遍的な基礎訓練は必要ですが、何よりも今、自分にとって関心のあることをとことん探究することが、美術に対する固定概念を解放し、個性的な発想を導き、未来の「美」の扉を開くことにつながるでしょう。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文<br>立体造形・デッサン | 10:00～11:30［90分］<br>13:00～17:30［4時間30分］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●小論文**――――――鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●立体造形・デッサン**―鉛筆デッサン用具一式、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

※カルトン、パネル、クリップは不要です。

※立体造形の用具は大学で用意します。

**●面接**

## 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

小論文、立体造形・デッサン、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 小論文 | ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか<br>・彫刻に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか<br>・大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・持論を有しているか<br>・出題に対して真摯に向き合っているか<br>・独創的で創造性にあふれているか |
| 立体造形・デッサン | ・柔軟な発想ができているか<br>・創造性にあふれ、可能性が感じられるか<br>・常識にこだわらない自由さがあるか<br>・新鮮な感覚・感性を持っているか<br>・個性的な洞察力を持っているか<br>・好奇心と探究心に満ちているか |
| 面接 | ・本学への進学目的が明確か<br>・独自の研究テーマを持っているか<br>・具体的な志望研究領域があるか<br>・将来、作家になる意欲をを強く持っているか<br>・自分の意思を明瞭に述べられるか |

## 入学試験／工芸学科

### 学科・専攻の特色

工芸学科は、人類がモノを作り続けてきた営みとともに、常に私たちのそばにある「陶、ガラス、金属」を扱う3つのプログラムによって構成されています。人類がモノを作り始めたときから今も続く工芸には、普遍的な現在性があると言って良いでしょう。本学科は、造形作家のみならず、教育研究者やデザイナー、商品企画をはじめとするさまざまな創造の現場で活躍する人材を多く輩出しています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、モノを作る意志の強い人、各プログラムへの志望の動機が明瞭な人物を求めます。まず出願時に提出してもらう形式自由な「資料」は、作品のファイルに限らず興味の対象、校内外、造形以外の活動紹介など自身の資質を表すものであってほしいと考えています。次に実技試験「鉛筆デッサン」では基礎的な造形力を見ます。さらに、モノを作るうえで重要な思考力を見るために「小論文」を課します。最後に本人の意志の力を確認する「面接」を行います。これらの「資料」「鉛筆デッサン」「小論文」「面接」により総合的に判断し選抜します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「モノをつくる力」「モノで表現する力」には強い意志が必要です。それを支えるのは、あらゆる事柄に興味をもって接し、自ら取り組むべき課題を見極めようとする態度です。もちろんそのなかには、造形の基礎である物を描くデッサンも含まれています。小論文の基本にもなる、自身の視点で物事を眺め、自身の言葉で表現し伝える努力もしてほしいと考えます。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文<br>鉛筆デッサン | 10:00～11:30［90分］<br>13:00～17:00［4時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●小論文**――――――鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●鉛筆デッサン**――――鉛筆デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、受験番号･氏名記入用ボールペン（黒）

**●面接**

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

資料、小論文、鉛筆デッサン、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 資料 | ・志望動機＝いかに本人の熱意が強いか<br>・独自性＝豊かな感性があるか<br>・造形力＝基礎的造形力があるか<br>・構成力＝プレゼンテーションの組み立てが優れているか |
| 小論文 | ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか<br>・工芸に対する興味・関心の高さをテーマ設定、文脈から読み取ることができるか<br>・大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・持論を有しているか |
| 鉛筆デッサン | ・理解力＝問題内容の理解が正しいか<br>・描写力＝構図、立体認識ができているか<br>・観察力＝物質感を的確にとらえているか<br>・空間把握＝物と物の関係を的確にとらえているか<br>・個　性＝独自の表現があるか |
| 面接 | ・学科、志望プログラムの特色への理解<br>・志望動機が明確であるか<br>・自分の考えで語れるか<br>・学業への熱意<br>・質問についての理解と、返答の的確さ |

## 入学試験／グラフィックデザイン学科

### 学科・専攻の特色

建学80余年の歴史を受け継ぐグラフィックデザイン学科は、広告をはじめ、グラフィックデザイン、イラストレーション、アニメーションなど、ビジュアルコミュニケーションデザインの各分野において、日本を代表する数多くの人材を輩出してきました。

社会環境が刻々と変化する現在、ビジュアルコミュニケーションの領域は拡大し、デザイナーの役割も飛躍的に広がっています。だからこそ時代に対応する、独自性に満ちたデザイン教育が必要とされているのです。本学科では、“美術大学でデザインを学ぶ意味”をより強固な柱とした体系的カリキュラムを通して、豊かな造形力と明せきな発想力によって問題解決のできる次代のクリエイターを育成します。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、デザインに対して強い意欲を有し、創造性において真に秀でた能力と個性的な資質を有する人材を求めます。これまでの学科試験と実技試験のバランスが求められた一般入学試験に対し、実技試験に特化した新しい判断基準を設けます。推薦入学試験は、実技試験「鉛筆デッサン」「色彩構成」（各5時間）、「クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）」（2時間）を行い、高い造形力、豊かな感性、柔軟な発想力、そしてデザインを学ぶ意欲といった、自己表現における総合力を判断し選抜します。

試験では、課題を造形化する発想力、「鉛筆デッサン」における描写力、「色彩構成」における色彩、形態、構成の造形力など、優れた資質と表現力を有しているかを評価します。「クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）」は、与えられたテーマを通して、スケッチとテキストを用いて自己表現するものです。描く・書くことでテーマに応えることを通じて、各自がもつデザインに対する意欲と知識、そして感覚と個性のアピールを評価します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の授業で「美術」を学び、造形力を育むことがもちろん大切ですが、他の教科もすべてデザインと深い関係があります。デザインの造形面だけでなく、社会のなかで果たしている役割も考えながら学ぶことを心がけてください。

また、授業だけでなく課外活動においても、美術やデザインに触れる機会を積極的にもち、知見を深めることが望ましいです。テーマをもち、掘り下げた考察や創造など、真剣に取り組む経験が何よりも重要です。各自の深い興味、そこから得られた知識や感覚こそが、大学でデザインを学ぶ原動力となります。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）※<br>鉛筆デッサン | 9:30～11:30［2時間］<br>12:40～17:40［5時間］ |
| 11月13日（日） | 色彩構成 | 10:00～16:10［5時間］ |

※クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）：与えられたテーマに対してスケッチとテキストを用いて自己表現する

11月12日（土）の11:30～12:40、11月13日（日）の12:30～13:40は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）**――水を使用しない黒の画材（鉛筆、マーカーペン、クレヨン、パステル、筆ペンなど）、消具、鉛筆削り、フィクサティフ（定着液）

**●鉛筆デッサン**――鉛筆デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

**●色彩構成**――水彩用具一式（ガッシュ、ポスターカラーなどの不透明水彩絵具に限る）、コンパス、三角定規、物差し、烏口、溝引き用ガラス棒、マスキングテープ、鉛筆、消具、鉛筆削り用ナイフ、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

## 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト）、鉛筆デッサン、色彩構成

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| クリエイティビティ テスト（スケッチ＋テキスト） | ・デザインへの強い興味と学ぶことへの意欲を有するか |
| 鉛筆デッサン | ・理解力＝問題の把握・理解が正しいか<br>・伝達力＝問題の目的や状況を正確に表現しているか<br>・発想力＝課題を造形化するアイデアに優れているか<br>・描写力＝構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか<br>・個　性＝デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか<br>・表現力＝より高い表現力を有しているか |
| 色彩構成 | ・理解力＝問題の把握・理解が正しいか<br>・発想力＝課題を造形化するアイデアに優れているか<br>・造形力＝アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか<br>・完成度＝手仕事としての仕上げが優れているか<br>・個　性＝品格、感性に優れているか<br>・表現力＝より高い表現力を有しているか |

## 入学試験／生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻

### 学科・専攻の特色

プロダクトデザイン専攻は長年にわたり、製品デザインの業界で国内に限らずグローバルに活躍し、けん引するデザイナーを数多く輩出しています。また、デザイン界のみならず、産業界でもネットワークを構築し活躍しています。プロダクトデザインの領域は今や製品の形や素材、色にとどまらず、人とモノとの関係が創り出す生活や、その生活を作る空間や社会などにも広がりを見せています。本専攻の教育プログラムもそれらの変化に対応し、ベーシックなスキルとなる“手”で考える美の追求から、多元的にモノゴトを見て考える力や、最新のコンピュータの活用力、国際人としてのコミュニケーション力、プレゼンテーションメソッドなどのアクティブラーニングを活用し、未来を担う個性豊かなプロダクトデザイナーの育成を実現しています。

### 推薦入学試験選抜方針

プロダクトデザイン専攻は、推薦入学試験をプレゼンテーション入学試験と位置づけ、受験生自らの創造を発表する場としています。選択科目A：「アイデア／プロセス」は、文章でのアイデア説明に加えて、イラストや図式、漫画などを用いての紙面表現です。問題文を理解したうえでのアイデア発想力を採点基準とします。選択科目B：「スケッチ／デッサン」は、デザインスケッチや鉛筆デッサン、カラー描写などによる紙面表現です。問題文に応じた描写内容と表現力を採点基準とします。ともに初日に実技を行い、2日目にはそれら作品のプレゼンテーションを行います。なお、合否判定に用いるのは、選択科目A、Bともに入学願書に記入の「自己アピール文」「実技試験」「プレゼンテーション面接」です。受験生の自由かつオリジナリティあふれる発想力や表現力に期待する新しい入学試験方法です。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

授業での学習や課外活動・クラブ活動でのコミュニケーションスキルは、その後のプロダクトデザインの学びには大切な要素です。加えて次の3つを学習し、経験してください。1つ目は“自らの長所、特技に磨きをかけること”です。自己アピール文に記入できる自らの強みを作ってください。2つ目は“発表力”です。プレゼンテーション面接の際に、自らの作品の良さを力強く楽しく明るくプレゼンテーションしてください。3つ目は“人間力”です。そのモノを必要としている人の気持ちになり、思いやりのある提案を考えてください。そのためにも日常で気になることは放置せずに考察したり、問題解決のアイデアを考えたりしてください。

※プロダクトデザイン専攻では、ホームページ　http://www.tamabi.ac.jp/product/　または、学科紹介パンフレットで推薦入学試験の出題例および解答例を公開しています。

QRコード

## 入学試験日程・科目（生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻は出願時にＡＢいずれかを選択）

■選択科目Ａ

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | アイデア／プロセス※1 | 10:00～13:00［3時間］ |
| 11月13日（日） | プレゼンテーション面接※2 | 時間は試験初日に指示 |

※1　アイデア／プロセス：文章でのアイデア説明、他にイラスト・図式などを使った紙面表現
※2　プレゼンテーション面接：「アイデア／プロセス」で制作した作品を説明・アピールする

■選択科目Ｂ

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | スケッチ／デッサン※1 | 10:00～13:00［3時間］ |
| 11月13日（日） | プレゼンテーション面接※2 | 時間は試験初日に指示 |

※1　スケッチ／デッサン：デザインスケッチ・鉛筆デッサン・カラー描写などによる紙面表現
※2　プレゼンテーション面接：「スケッチ／デッサン」で制作した作品を説明・アピールする

## 試験科目・持参するもの

■選択科目Ａ

●**アイデア／プロセス**―鉛筆・シャープペンシル等筆記用具（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、カラーサインペン、カラーマーカー、色鉛筆等（水を必要としない画材に限る）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

●**プレゼンテーション面接**

■選択科目Ｂ

●**スケッチ／デッサン**―鉛筆デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、スケッチ用具一式（カラーサインペン、カラーマーカー、色鉛筆等、水を必要としない画材に限る）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

●**プレゼンテーション面接**

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

| | |
|---|---|
| ■選択科目Ａ | 書類、アイデア／プロセス、プレゼンテーション面接 |
| ■選択科目Ｂ | 書類、スケッチ／デッサン、プレゼンテーション面接 |

## 採点基準

■選択科目Ａ

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 書類 | ・総合学力＝次世代クリエイターとして必要な素質があるか<br>・アピール力＝自分の考えを持っているか／何かに秀でた能力があるか |
| アイデア／プロセス | ・思考力＝現在や未来に適した発展的思考ができているか<br>・論理性＝思考プロセスが的確に説明できているか<br>・発想力＝発想に独自性や新規性があるか |
| プレゼンテーション面接 | ・発表力＝自らの作品意図を適切に伝えられるか<br>・人間力＝次世代クリエイターとしての素質があるか |

■選択科目Ｂ

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 書類 | ・アピール力＝自分の考えを持っているか／何かに秀でた能力があるか |
| スケッチ／デッサン | ・表現力＝描写内容に即した表現ができているか<br>・理解力＝問題の把握・理解が適切にできているか<br>・構成力＝画面内に伝えるべき内容が構成されているか |
| プレゼンテーション面接 | ・発表力＝自らの作品意図を適切に伝えられるか<br>・人間力＝次世代クリエイターとしての素質があるか |

## 入学試験／生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻

### 学科・専攻の特色

テキスタイルデザイン専攻では「未来をつくるテキスタイル―手とテクノロジー」をモットーとして新しいテキスタイルの創造をめざしています。衣・食・住の要素である繊維製品は生活に不可欠な存在です。本専攻では、繊維から布をデザインすること、また布を使ってものをつくることを学びます。授業では手で布を織り、また染める過程を通してテキスタイルの造形表現を習得します。

テキスタイルには、繊維工業（生地・資材）、インテリア産業（カーテン・カーペット・寝具等）、アパレル産業（衣服・帽子等）、空間演出・舞台芸術（緞帳＜どんちょう＞・舞台衣裳等）などの分野があり、卒業生の多くがそれら分野のデザイナーとして活躍しています。また伝統に基づく染織作家やテキスタイルを用いる現代アーティストなど、多彩な人材を社会に輩出してきました。

風土と文化に根ざした素材、技術、文様、色彩により独創的なテキスタイルが世界中でつくり出されてきました。私たちは広い視野で行動していく若者の好奇心と冒険心こそが、テキスタイルの新たな世界を切り開いていくと考えています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、テキスタイルの力で未来を創造したいという強い意欲をもつ、より個性的な人を求めます。また地球の自然環境と向き合い、さまざまな文化に興味をもつ若い世代の探究心に期待するとともに、高等学校等までの経験をつないで能動的に学ぶ意欲をもち物事に挑戦できる人を求めます。専門技術は大学入学後に学ぶという前提で、基礎造形力と思考力および成長できる活力があるかどうかという潜在能力をはかります。そのため推薦入学試験は「実技試験」「小論文」「面接」と提出の「作品」から総合的に判断し選抜します。

実技試験は「鉛筆デッサン」「色彩構成」のどちらか1つを選択し、「色彩構成」では色彩の美しさと配色が秀でているか、「鉛筆デッサン」ではものを観察する力と基本的な描写力を見ます。

「小論文」では、思考力とそれを表現する力を見ます。文章力が優れているかではなく、問いに対してこれまでの経験に基づく自分の考えを述べることができるかを見ます。

「面接」では、積極的に自分自身をアピールしてもらい、自然に親しみ伸びやかで活力のある人、継続力があり真摯に物事に取り組み努力できる人、国際的な活動へ意欲がある人など、それぞれの人物の個性と長所を重視します。高等学校等の在籍中からさまざまな表現活動に積極的であること、発表歴をはじめ課外の自主的な活動から見える行動力も評価します。

また本専攻の特色から、繊維産地出身の人、産地や工場に関係する人など、日本の地域繊維産業に貢献する意欲があり、また染織文化を継承していくことに関心のある人も望みます。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の所定の授業以外の学びも意欲的に行ってほしいと思います。さまざまな分野に目を向けることが大切です。自分がおもしろいと思うこと、好奇心はすべての始まりです。とくに関心をもったことには、何であっても徹底的に探求することが大学での学びにつながります。感性そして体力も大切です。ときには自然のなかで心を解放し、体を動かすことも大学で学ぶ準備になります。

デザインもアートも人間のためのものです。自分の内側だけにこもらず人と対話する時間も大切にして、コミュニケーションの力を身につけてください。どんな小さなことでも良いので、自分で考え自分で判断し行動する体験を積み重ねてください。未来を切り開く基礎力が培われます。

## 入学試験日程・科目（生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻は出願時にＡＢいずれかを選択）

■選択科目Ａ

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文［テキスタイルデザイン専攻専門試験］<br>鉛筆デッサン | 10:30～12:00［90分］<br>13:00～16:00［3時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の12:00～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

■選択科目Ｂ

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文［テキスタイルデザイン専攻専門試験］<br>色彩構成 | 10:30～12:00［90分］<br>13:00～16:00［3時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の12:00～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

●**小論文［テキスタイルデザイン専攻専門試験］**――― 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

● ■選択科目Ａ **鉛筆デッサン**― 鉛筆デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

● ■選択科目Ｂ **色彩構成** ――― 水彩用具一式（絵具はポスターカラー・ガッシュなど不透明水彩絵具に限る）、三角定規、物差し、受験番号・氏名記入用ボールペン（黒）

●**面接**――――――――――― 作品３点以内（過去３年間に制作した作品。平面、立体を問わず）
※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（59ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

## 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

■選択科目Ａ　小論文、鉛筆デッサン、面接

■選択科目Ｂ　小論文、色彩構成、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 小論文<br>［テキスタイルデザイン専攻専門試験］ | ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめられているか<br>・テキスタイルに関する興味・関心の高さを文脈から読み取ることができるか<br>・大学における教養教育を修得する上で基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・持論を有しているか<br>・出題に対して真摯に向き合っているか<br>・独創的で創造性にあふれているか |
| ■選択科目Ａ<br>鉛筆デッサン | ・理解力＝出題の意図を把握し理解しているか<br>・独創性＝独自の創造性を感じられるか<br>・観察力＝先入観にとらわれず素直に観察しているか<br>・描写力＝見たものを的確・丁寧に描写する技術が備わっているか<br>・構成力＝課題の内容を美しく表す構成ができているか |
| ■選択科目Ｂ<br>色彩構成 | ・理解力＝出題の意図を把握し理解しているか<br>・独創性＝独自の創造性を感じられるか<br>・伝達力＝制作のテーマが見るものに伝わるように表現されているか<br>・表現力＝独自の色彩世界が形態構成と調和的に表現されているか<br>・完成度＝表現材料の扱いが丁寧で、仕上がりが優れているか |
| 面接 | ・本専攻での修学の意志を述べることができるか<br>・志望動機がはっきりしているか<br>・入学後の順応性をそなえているか<br>・持参した作品に関する説明を的確におこなえるか |

## 入学試験／環境デザイン学科

### 学科・専攻の特色

環境デザイン学科は、インテリアデザイン、建築デザイン、ランドスケープデザインという３つの柱を中心として、人間が生活する環境すべてを対象としたデザインを学びます。環境デザインとは、ひとことで言うと、人を幸せにする場所を造る仕事だと言えます。デザインとは表面を飾ることだけではありません。環境デザインにとってのデザインとは、建築などが、何のために誰のために存在しているのか、そこに何が求められているのかという在り方そのものを考えて造ることでもあります。

本学科は、環境デザインの前提となる条件を広い視野から見て、的確かつ客観的に分析し、そこに造るべきものを設計・計画し、それを成し遂げるための道筋を考え、その内容を人に説明することができる総合的なデザイン力と豊かな創造性を身につけることを目標とします。また将来、建築士などの国家資格を取得し、企業で、またデザイナーとして幅広く活躍し社会に貢献できる人材を育成します。

### 推薦入学試験選抜方針

環境デザインでは、空間を把握し創造できる力が求められますが、一方で多様な視点が必要であり、美術系に限らずさまざまな分野のなかに、その適性をもっている人がいると考えています。

実技試験の「空間デザイン」は、表現テクニックだけを評価するものではありません。与えられた条件を理解したうえで、空間として構成し、造形する力を総合的に評価します。さらに「プレゼンテーション面接」では、実技試験で制作した作品について、その答えを出した主旨をわかりやすく説明する能力を見ます。「小論文」は、与えられたテーマに対して自分の考えをもつことと、それを簡潔に表現する力を見ます。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

家具や照明器具などから建築、都市、海や山などの自然環境、風景など人間を取りまく環境に関心をもち、それらを観察することに興味をもってもらいたいと思います。そして店舗、公共建築、公園など身近な環境のなかから好きな場所を探し、それらをなぜ好きなのか、どういうところが好きなのかなど、分析的に見ることを経験してください。さらに理系、文系に関係なく、環境デザインと関連しているさまざまな分野に関心をもち、多様な体験をしてもらいたいと思います。そのうえで、自分はどう思うのか、自分だったらどうするのかなど、いろいろな事象に対して自分の意見をもてるようになってください。高等学校等の授業や課外活動では、生徒会、クラブ活動、学園祭など、積極的に多くの人と関わり、さまざまな人の意見を聞き、グループをまとめるなど、共同作業の経験をしておくことを望みます。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文［環境デザイン学科専門試験］<br>空間デザイン | 10:00～11:00［60分］<br>12:00～17:00［5時間］ |
| 11月13日（日） | プレゼンテーション面接※ | 時間は試験初日に指示 |

※プレゼンテーション面接：「空間デザイン」で制作した作品を説明・アピールする

11月12日（土）の11:00～12:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●小論文［環境デザイン学科専門試験］**― 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●空間デザイン**――――――――――― 鉛筆（黒各種）、消具、ハサミ、カッターナイフ、粘着テープ（仮留め使用に限る。両面テープによる接着は不可）、直定規、コンパス、三角定規等

※接着剤は大学で用意します（持参品も可）。

**●プレゼンテーション面接**

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

| |
|---|
| 小論文、空間デザイン、プレゼンテーション面接 |

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 小論文［環境デザイン学科専門試験］ | ・環境デザイン（インテリア、建築、ランドスケープ）に関する興味・関心の高さを文脈から読み取ることができるか<br>・文の構成が整っており、考えを的確にまとめられるか<br>・大学における教養教育を修得するうえで基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・独創的・創造性にあふれ、持論を有しているか |
| 空間デザイン | ・理解力―出題意図を把握し理解しているか<br>・独創性―独自の創造性を感じられるか<br>・客観性―客観的に観察できているか<br>・構成力―空間的把握ができているか |
| プレゼンテーション面接 | ・発表力―自らの作品について意図を伝えられるか<br>・人間力―自らの考えを的確に伝え、理解してもらえるか<br>・志望動機が明確で、創作意欲と熱意があるか<br>・クリエイターとしてのコミュニケーション能力の素質を感じられるか |

## 入学試験／情報デザイン学科　（メディア芸術コース）（情報デザインコース）

### 学科・専攻の特色

人間と社会の豊かな関係や、異なる文化・芸術との交錯が、ますます重要になった今、知識や情報の新たな表現やメディアの創造による、多彩な「アート」と「デザイン」の世界が花開き始めました。「メディア芸術コース」と「情報デザインコース」の2つのコースから成る情報デザイン学科は、いずれのコースも本学が長年培ってきた美術教育をベースに、すでにある問題を解決するだけでなく、未知の問いを作りだしていきながら、新しいビジョンをひとつずつ社会に実現させていく、未来のクリエイターを育成しています。これまでの卒業生は、ウェブやデバイスのデザイン、ゲームやアプリケーションのクリエイター、あるいは新時代のメディアアーティストとして、国際的に活躍し、社会の注目を浴びる実績をあげてきました。本学科は、人間の感性と知性が響き合うことこそが、新たな社会の礎となることを深く認識し、大学教育を通じて、時代を超えた知と美の融合をめざしています。

今後、大学入学以前の教育においても、プログラミングやネットワークに関連した、IT教育が強化されることが予想されます。そうした状況のなか、私たちはこれまで以上に高等学校や諸機関等との教育的連携を深めることで、美術教育としての継続性と、デジタルメディアによる表現を両立できる、ユニークな人の募集を推進することにしました。真摯な姿勢で制作に向き合い、常に自己の枠組みを更新していくことができる、個性的な人材の発掘と育成、さらには卒業後の支援をめざしています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、情報デザイン学科のビジョンや理念を共有し、かつ常日頃からデジタルメディアに接し、ネットワークやプログラミングを通じて、さまざまなメディアを縦横無尽に使いこなしていく、新たなスキルと表現する意欲をもった人を求めます。

「メディア芸術コース」「情報デザインコース」とも、一般入学試験の一般方式の実技試験では造形力や構成力、発想力に重点をおいて判定し、センターⅠ方式ではそれに加えて、一般的な学力も大切な判定材料としてきました。今回の推薦入学試験は、その一般入学試験の両方式では判定しきれなかった、本学科の主な領域のひとつである「デジタル技術を用いたアートやデザイン」に、関心や実績のある人材の発掘を目的としています。

デジタルメディア文化の成熟とともに、新しく誕生した美術の領域をさらに開拓していく才能の発見に重点をおいて、「デジタルメディア作品あるいはデジタルポートフォリオ」で制作力や編集力を評価し、「面接」において自らの考えを述べる力＝プレゼンテーション能力をはかり、それらを総合的に判断することで選抜します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

高等学校等の「情報」で学ぶ、インターネットやデジタルメディアの基礎知識を習得していることを前提として、プログラミングや電子工作などの技法の学習、デジタルファブリケーションや電子出版といったデジタル文化の体験などを通じて、デジタルメディアについての考察を巡らせる時間をもつことを推奨します。

※情報デザイン学科では、推薦入学試験を自己推薦として、高校卒業見込み者はもちろんのこと、高等専門学校や他大学の新卒者、既卒者、また社会人にまで広く門戸を開いた募集と考えています。

## ■メディア芸術コース
## ■情報デザインコース

### 1次選考

| 合否発表日時 | 発表方法 | 選考内容 |
|---|---|---|
| 11月 7日（月）<br>13:00～ | ホームページで受験番号により簡易発表<br>（http://www.tamabi.ac.jp） | ・書類<br>・オンラインポートフォリオ※<br>（09ページ参照） |

※オンラインポートフォリオ：インターネットで閲覧できる形式のポートフォリオ。

### 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 面接 | 時間は1次選考の合否発表時に通知<br>http://www.tamabi.ac.jp |

### 試験科目・持参するもの

●面接――――――デジタルメディア作品（インタラクティブコンテンツ、ゲーム、プログラムコードで書いたグラフィックスやサウンドなど）あるいはデジタルポートフォリオ（ウェブページ、電子ブック、アプリケーションなどにまとめられたもの）

（注意）デジタルメディア作品などをプロジェクターで投影して作品を説明しながら面接を行います。作品／ポートフォリオを閲覧するためのPCと、接続に必要となるVGAディスプレイアダプター、あるいはスマートフォンやタブレットなどを持参してください（無線または有線でインターネット接続可。ただし何らかの理由で接続できないときのためにデータを持参するなど各自準備してください）。

※面接試験に提出・持参する作品等については、必ず本学所定の「提出物作成自己証明書（60ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

### 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

| |
|---|
| デジタルメディア作品あるいはデジタルポートフォリオ、面接 |

### 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| デジタルメディア作品<br>あるいは<br>デジタルポートフォリオ | ・リサーチ＝制作に関する調査研究<br>・コンセプト＝制作に関する思考力<br>・テクノロジー＝制作の道具と方法<br>・エステティック＝制作物の美しさや表現力<br>・ソーシャル＝制作物の発信と共有 |
| 面接 | ・志望理由と入学後のプラン<br>・学科、コースに関する理解<br>・制作に対する考え方<br>・制作のための技術<br>・人や社会に関するビジョン |

## 入学試験／芸術学科

### 学科・専攻の特色

芸術学科は、アート・プロデューサー、学芸員（キュレーター）、研究者など美術・芸術を世界に発信する人材を育成する学科です。

「つくる」「考える」「伝える」をカリキュラムの骨子として、まず実技を通して表現技法や素材への関心や認識を深め、また、美術・デザイン史、芸術学などの講義により、美術や芸術の多種多様な表現がどのように考えられているかを理論的・実践的に学びます。さらに、展覧会や多様なメディアによる企画制作を通して、美術・芸術を社会に発信していくために必要なスキルを身につけます。

学科内に作品制作のためのスタジオや編集・出版のための編集室をもち、授業では、学生が記者、編集者、デザイナーとなって雑誌や書籍を発行したり、展覧会の企画制作と展示を実体験するなど、「美術大学ならではの芸術学科」として、思考力、企画力・コーディネート力、発信力を養っていきます。

卒業生は、美術館・博物館の学芸員、文化施設のプロデューサー、出版社の編集者、ジャーナリスト、研究者、教員から、美術家や映像制作に関わる者、また企業やイベントのプランナーにいたるまで、多方面で活躍しています。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、現代の芸術・文化をプロモート（企画・制作）しようとする熱意と使命感をもった人を求め、学力中心の一般入学試験では評価しきれない「芸術・文化」と「プロデュース」に関わる人に必要な資質と能力を見ます。

出願時に提出してもらう「課題」では、ある分野のプロデューサーとなって企画を立て、その意図や内容を具体的に文章や図面、そして写真などで表現することを求めます。この課題により「アート・プロデュース」に必要な企画力や発想力を評価します。また「小論文」では文章表現力や思考力を、「面接」では芸術に対する考え方や将来の目的意識などを評価します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

芸術を楽しみ感受する力が大切です。高等学校等での芸術の授業のみならず、自分の興味に応じて、美術、音楽、映画、演劇、文芸など、積極的に芸術や文化に触れ、自由で柔軟な発想力や思考力を身につけてほしいと思います。また、日本の文化だけでなく、洋の東西を問わず他地域の文化の多様性にも興味・関心をもってほしいと考えています。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文［芸術学科専門試験］<br>面接 | 10:00～11:30［90分］<br>13:00～ |

11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

## 試験科目・持参するもの

**●小論文［芸術学科専門試験］**―鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り
※辞書の持ち込みは不可

**●面接**

## 選考方法

下記科目等に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

| |
|---|
| 課題、小論文、面接 |

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 課題 | ・柔軟で自由な発想力<br>・企画を構想しプロデュースする力<br>・企画を文章として人に伝える表現力 |
| 小論文<br>［芸術学科専門試験］ | ・言語運用力＝日本語の理解、表現力が十分か<br>・読解力＝課題を正確に読み取れているか<br>・思考力＝問題をどれだけ深く考察できているか<br>・独創性＝独自の発想や感性にすぐれているか<br>・理解力＝確実な事実認識ができているか |
| 面接 | ・志望理由<br>・芸術に対する考え方<br>・芸術学科の特色を理解しているか<br>・学業への熱意<br>・課題に関する質疑応答 |

## 入学試験／統合デザイン学科

### 学科・専攻の特色

統合デザイン学科は、従来の領域の区分を取り払いコミュニケーションやプロダクトに限らず、その他の諸領域を結び統合的にデザインを学ぶ学科です。

身体の延長としてのものや空間、その集合体としての環境、そしてそのそれぞれをつなぎ合わせる媒介としてのシステムとコミュニケーション、画像や映像や身体のインタラクション、それらが途切れることなく一貫性をもって統合されたデザインは、それ自体が美学として、生活や社会や産業をより良い方向に導く原動力となります。

本学科は、このような統合されたデザインの実現を担うため、社会や産業を構成するさまざまな問題を生活の営みから感覚的に嗅ぎ分け、その問題を論理的に分析し、解決方法を視覚化し伝える力と、ものとして具体化し実現化させる能力に秀でたデザイナーを育てることを目標とします。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、上記のような能力が発揮できる人材として、一般入学試験と異なる視点から入学者選抜を行います。問題を発見し解決する能力と実現するための意欲と行動力、さらに国際的視野をもち広く世界で活躍する人材を育成するため、国際的なコミュニケーション能力を求めます。これら資質・能力を「小論文」「英語」「面接」「自己アピール書類」から総合的に判断し選抜します。

「小論文」は、あるひとつのテーマについて論述するテーマ型の小論文ではなく、問題解決型の出題とします。与えられたテーマに基づき、問題を発見・定義し、必要な情報を整理し分析したのち、問題解決するための合理的な手立てを論理的な思考により、具体的に提案する能力をはかります。

「英語」は、現在の国を越えたコミュニケーションの多くが、インターネット上で英語を介して行われている背景を重視し、英文の大意をつかみ自分の考えを英語で表現する能力（読む力、書く力）をはかります。

「面接」と事前に提出してもらう「自己アピール書類」では、高等学校等の校内外の活動歴や各種受賞歴などを含め、主体性や行動力の有無を確認します。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

英語力を育むためにも、自分が興味をもつ分野の海外文献や資料に日常的に触れることを望みます。また、問題解決力で重要となる、論理的な思考、データの分析、合理的な意思決定の基礎を身につけるためにも、数学や物理などの理系科目も履修しておくと良いでしょう。こうした理系科目の知識や経験は、近年のデザインにおいてプログラミングや最新技術の理解と習得を可能とし、新しい表現の可能性や問題解決の提案に有用です。

また大学入学後は、デザインに関する知識や実技を統合的なデザインのカリキュラムによって学ぶことができますが、その学習効果をより高めるためにも、普段からデザインや美術へ積極的に関心をもったうえで、身の回りの物事の観察や分析を心がけておいてください。

## 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 英語<br>小論文（問題解決型） | 10:00～11:00［60分］<br>11:30～13:30［2時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

## 試験科目・持参するもの

**●英語**――――――――― 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●小論文（問題解決型）**― 鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

**●面接**

## 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

小論文（問題解決型）、英語、面接

## 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 英語 | ・英語で書かれた文章を把握するための基礎的な語学力があるか<br>・著者の主張を正しく把握する読解力、理解力があるか<br>・読んだ内容に対して自分なりの論理的な考えをもち、それを英文で表現する能力があるか |
| 小論文（問題解決型） | ・出題された内容を、正確に読み解く読解力と理解力を有しているか<br>・問題解決型の問いに対して、時間内に問題をまとめ、自分なりの解答を導き出せるか<br>・論理的な思考力を有しているか<br>・論理的で明確な文章で、自らの考えを記述することができるか<br>・解答における提案内容や取り組む視点に、独自性があるか |
| 面接 | ・本学科の内容・特色を理解し、入学志望理由が明確であるか<br>・デザインに対する考え方<br>・観察力、思考力、発想力、言語化能力<br>・授業への取り組みの意欲があるか<br>・質問の意図に対する理解力と変更の的確さ |

## 入学試験／演劇舞踊デザイン学科　（演劇舞踊コース）（劇場美術デザインコース）

### 学科・専攻の特色

演劇舞踊デザイン学科は次代の演劇舞踊文化、劇場文化を創造するプロフェッショナルな俳優、ダンサー、演出家、コレオグラファー、劇作家、舞台美術家、舞台照明プランナー、舞台衣裳デザイナーなどを育成することをめざしています。本学科には「演劇舞踊コース」と「劇場美術デザインコース」があり、それぞれが専門性を高めながら3年次以降は両コースが連携して実践的な「上演制作実習」を行い、その体験を積み重ねて「卒業制作」でスキルを集大成します。

「実践／専門スキル」では各分野の第一線で活躍する教員が実践的な身体表現のメソッドやスタッフワークの技術を指導するとともに、ゲネプロ見学やバックステージツアーを組み合わせた観劇、ドラマや映画の制作現場の見学やスタッフワークの体験など制作現場の実践的な理解と体感を高めるカリキュラムを提供します。「講義／理論」ではスキルの習得に連動した演劇、舞踊、劇場美術の理論と歴史を体系的に学ぶことができます。

### 推薦入学試験選抜方針

推薦入学試験では、プロフェッショナルな演劇人、ダンサーを育成するという演劇舞踊デザイン学科の教育方針に賛同し、新しい舞台芸術を創造する意欲と個性にあふれた人を求めます。

「演劇舞踊コース」では、将来、プロとして自立できる身体表現能力の素地があるかどうかを重視します。実技試験「身体表現」で、身体を意識して動かせているか、音楽やリズムを体で感じて踊れるか、即興的な表現力があるか、共演者との関係性を柔軟に作れるか、舞台を動き回っても声量が保てるかを見ます。また「小論文」「面接」で、演劇舞踊に対する興味と関心、舞台芸術への理解や熱意などを見ます。

「劇場美術デザインコース」では、コミュニケーション能力に優れたリーダーシップを発揮できる人を求めます。独自の美術表現や活動によって生み出された作品の提示とともに、自分の言葉でデザインコンセプトを伝えられるかが重要です。事前に提出してもらう「ポートフォリオ」「書類」の内容は、時間をかけて審査します。「面接」では、提出「作品」のデザインコンセプトの説明もしてもらいます。また実技試験「鉛筆デッサン」では、デッサン力に秀でた人を評価します。ユニークな発想や表現力をもっている人のチャレンジを望みます。

### 高等学校等で学習・経験しておいてほしいこと

「演劇舞踊コース」「劇場美術デザインコース」どちらを志望するとしても、演劇舞踊の公演、美術展、音楽会、映画館に積極的に足を運んでさまざまな表現に触れ、感性を豊かにしておくことが重要です。脚本を読み解き、自分の考えを他者に伝える日本語の力を身につけることも必要です。そのためには「国語」に力を入れ、読書を心がけてください。また演劇は集団創造の芸術ですから、高等学校等の校内外で他者とコミュニケーションをとりながら活動した体験や、そこで獲得した知識は、入学後も上演制作で大いに助けとなります。クラブ活動、生徒会、ボランティア活動などには積極的に関わってください。さらに「劇場美術デザインコース」志望の人は、積極的な作品制作を通して自己表現力を身につけてください。脚本を読み、演出家と打ち合わせを重ね、多くのスタッフに美術イメージを伝える、文章と言葉から造形を紡いでいくことがデザイナーの重要な役割です。具体的には、アイデアをイメージスケッチや模型製作という形で表して、コミュニケーションをとり仕事を進めるためにも、デッサン力と造形力を磨くことが必要です。

## ■演劇舞踊コース

### 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月12日（土） | 小論文<br>身体表現 | 10:00～11:30［90分］<br>13:00～17:00［4時間］ |
| 11月13日（日） | 面接 | 時間は試験初日に指示 |

11月12日（土）の11:30～13:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

### 試験科目・持参するもの

●**小論文**――――――鉛筆（黒、HBまたはB）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り

●**身体表現**――――――着替え（動きやすい服装）、靴（動きやすい靴）

●**面接**

### 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

| |
|---|
| 小論文、身体表現、面接 |

### 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| 小論文 | ・文の構成が整っており、考えを的確にまとめ、小論文の体裁が整っているか<br>・演劇・舞踊に対する興味・関心の高さがテーマ設定、文脈から読み取ることができるか<br>・大学における教養教育を修得する上で基礎的な能力を幅広く有しているか<br>・持論を有しているか<br>・出題に対して真摯に向き合っているか<br>・独創的で創造性にあふれているか |
| 身体表現 | ・理解力＝身体に対する要求を実感をともなって理解できるか<br>・意欲性＝身体に対する要求に積極的に取り組んでいけるか<br>・独創性＝身体を使っていかに意識的かつ独自的な表現ができるか |
| 面接 | ・自分の語彙を持っているか<br>・舞台芸術への理解と情熱<br>・過去の表現活動歴 |

## ■劇場美術デザインコース

### 入学試験日程・科目

| 日時 | 試験科目 | 時間 |
|---|---|---|
| 11月13日（日） | 鉛筆デッサン<br>面接 | 10:00～13:00［3時間］<br>14:00～18:00 |

13:00～14:00は昼食休み時間。必ず昼食を持参してください。

### 試験科目・持参するもの

**●鉛筆デッサン**――― 鉛筆デッサン用具一式、フィクサティフ（定着液）、受験番号･氏名記入用ボールペン
※カルトン、パネルは不要です。

**●面接**――― 作品（内容は自由、自己表現力をアピールするもので、面接時に作品のデザインコンセプトを説明）
※面接試験に提出・持参する作品については必ず本学所定の「提出作品作成自己証明書（61ページ）」に記入し、出願書類に同封してください。

### 選考方法

下記科目に出身高等学校の調査書等を勘案し、総合的に選考します。

ポートフォリオ・書類、鉛筆デッサン、面接

### 採点基準

| 入学試験科目等 | 採点基準 |
|---|---|
| ポートフォリオ・<br>書類 | ・基礎技能を有するか<br>・自己アピールできる魅力ある内容であるか<br>・真面目に作品に取り組んでいるか |
| 鉛筆デッサン | ・理解力＝問題の把握・理解が適切か<br>・表現力＝光の意識、素材の表現、空間把握ができているか<br>・描写力＝基本的な表現技術と丁寧な描写力があるか<br>・創造性＝独自の創造性が感じられるか<br>・感性＝魅力ある表現ができているか |
| 面接 | ・基本的な表現力が身についているか<br>・学科の特色を理解しているか<br>・協調性があるか<br>・授業への熱意と適応力があるか |

## 合格発表

**2016年11月17日（木）　13:00**

［発表方法］

ホームページで、受験番号により簡易発表（http://www.tamabi.ac.jp）

［結果通知書について］

受験者全員に対して、結果通知（合格者は「入学手続書類」を同封）を宛名記入用紙に記載された住所へ発送します。

［合格発表に関する注意］

・電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

・合格通知をもって正式な合格とします。

## 入学手続期限

**2016年12月12日（月）**

期限までに納入金を振り込み、入学手続書類を郵送（消印有効）してください。

## 学費

2017年度学費は未定のため、2016年度学費を参考に掲載します。

| | 前期（入学時） | 後期（9月） | 年間合計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 入学金 | 300,000円 | — | 300,000円 | 入学時のみ |
| 授業料 | 593,500円 | 593,500円 | 1,187,000円 | |
| 施設費 | 165,000円 | 165,000円 | 330,000円 | |
| 維持費 | 25,000円 | 25,000円 | 50,000円 | |
| 実習費 | 16,000円<br>～31,500円 | 16,000円<br>～31,500円 | 32,000円<br>～63,000円 | 学科・専攻により異なる<br>（下記参照） |
| 合　計 | 1,099,500円<br>～1,115,000円 | 799,500円<br>～815,000円 | 1,899,000円<br>～1,930,000円 | 学科・専攻により異なる<br>入学時・9月に分納可 |

実習費：

実習費は、次の通り学科・専攻により金額が異なります。

日本画専攻・工芸学科＝48,000円、彫刻学科＝63,000円、芸術学科＝32,000円、その他の学科・専攻＝38,000円

**［その他の諸費用］**

私用材料等一括購入預り金：

学科・専攻により、学費とは別に私用な材料・消耗品・工具・研修ゼミ等に充当する預り金を徴収します。日本画専攻30,000円、油画専攻23,000円、版画専攻76,000円、彫刻学科92,000円、工芸学科40,000円、テキスタイルデザイン専攻50,000円、環境デザイン学科40,000円、芸術学科15,000円、演劇舞踊コース40,000円、劇場美術デザインコース40,000円

校友会費：

終身会費30,000円（代理徴収）

**次年度以降の学費：**

在学中の学費は入学時の額による一定方式です。

## 入学前プログラム

入学までの準備期間を有効に活用し、専門実技の意欲をより高めるためのプログラムです。これらは入学後の大学生活に対する不安や疑問を緩和することを目的にしています。内容は合格された方にあわせたプログラムになるため、合格発表後にお知らせいたします。

## 入学

絵画・彫刻・工芸・グラフィックデザイン・生産デザイン・環境デザイン・情報デザイン・芸術学科は八王子キャンパス（東京都八王子市鑓水2-1723）に入学します。
統合デザイン・演劇舞踊デザイン学科は上野毛キャンパス（東京都世田谷区上野毛3-15-34）に入学します。

## おことわり

1. 入学試験の解答について、所有権は本学に帰属し、解答の返却はいたしません。
2. 合格者の作品等を以下のように使用することがあります。
   - 『入試ガイド2018』等に掲載
   - 公に展示
   - 本学のホームページに掲載

## 個人情報の取り扱いについて

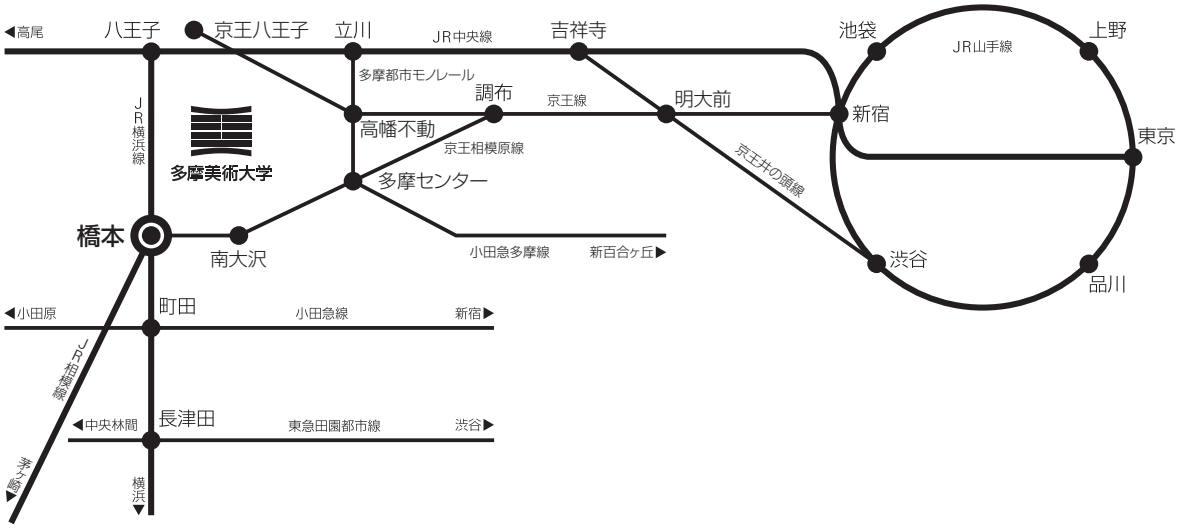
本学では、2017年度入学試験時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な安全管理を行います。
個人情報の取り扱いについて不明な点等がありましたら下記連絡先に問い合わせてください。

## 願書提出先および入学試験に関するお問い合わせ先

〒192-0394　東京都八王子市鑓水2-1723
多摩美術大学入学センター
電話：042-679-5602
Fax　：042-676-2935
E-mail：nyushi@tamabi.ac.jp

## 美術学部入学試験会場（八王子キャンパス）への交通

**入学試験会場：多摩美術大学八王子キャンパス（東京都八王子市鑓水2-1723）Tel. 042-676-8611（代表）**




### ＝八王子キャンパス最寄駅（橋本駅）からの路線バス利用について＝

多摩美術大学八王子キャンパスまでは、橋本駅からの路線バスを利用してください。バスの円滑な運行のために、あらかじめ小銭やICカード（スイカ・パスモ等）を用意し、整列乗車にご協力ください。

**橋本駅からの路線バス（北口6番乗場より神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」）**
運賃：片道180円　多摩美術大学（終点）まで約8分

**［主要駅から橋本駅までの交通］**
**新宿駅から**
京王線新宿駅「橋本行（特急・急行・区間急行・快速）」を利用。所要時間約55分。
「京王八王子行（特急・急行・区間急行・快速）」「高尾山口行（特急・準特急・急行・区間急行・快速）」を利用する場合は、調布駅で橋本行に乗り換え。所要時間約55分。
**八王子駅から**
JR横浜線を利用。所要時間約12分。
**横浜駅・町田駅から**
JR横浜線「八王子行」「橋本行」を利用。横浜駅から所要時間約50分。町田駅から所要時間約15分。

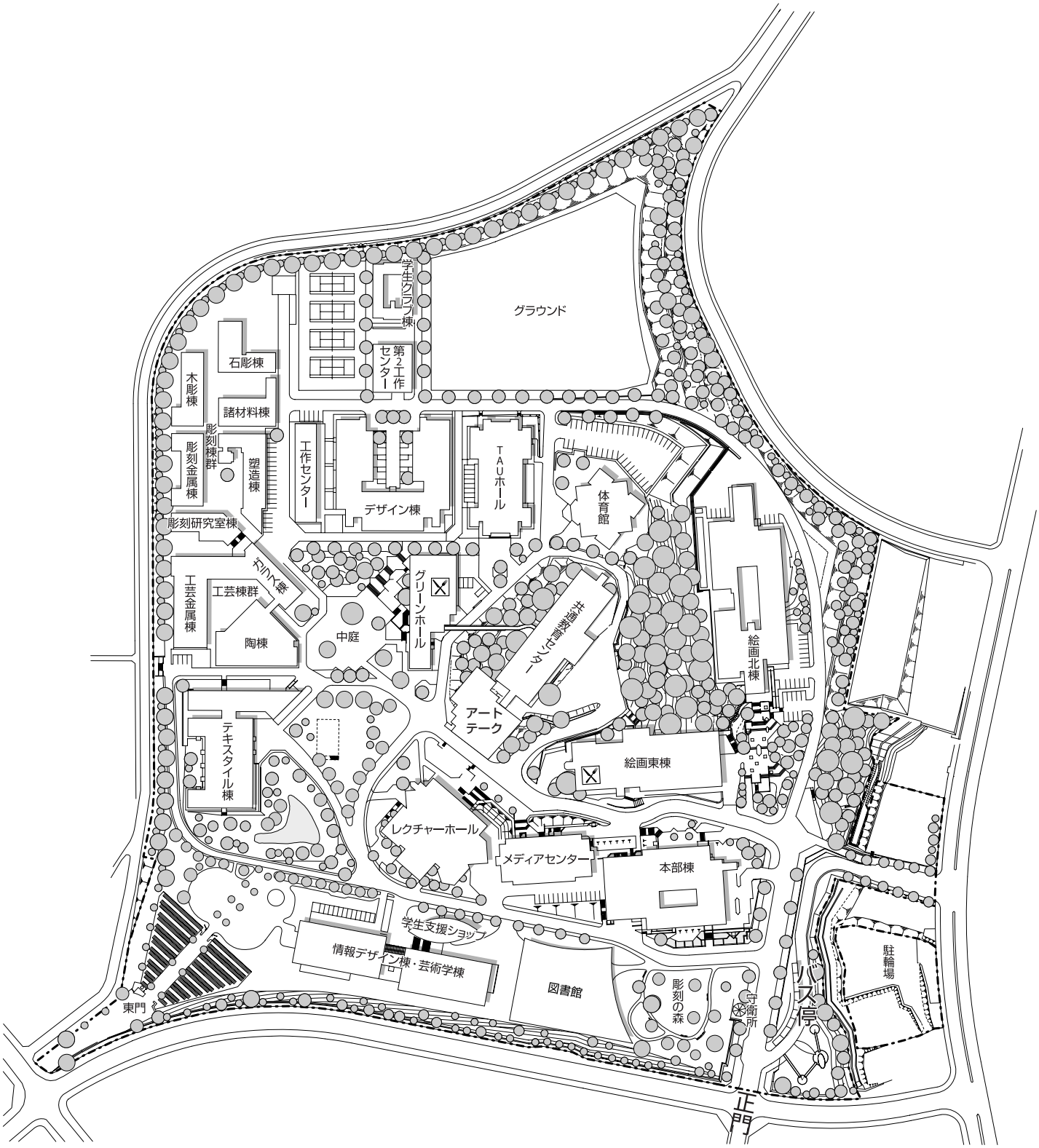
上記以外の路線バスを利用して大学に来ることもできますが、時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

※八王子駅から路線バスやタクシーを利用する場合は、国道16号線の道路事情や天候など不測の事態で遅れることがありますので、十分ご注意ください。

注意：入学試験期間中、キャンパス内に自動車等車両の乗り入れは一切できません。入学試験会場の下見、入学試験当日、合格発表日など、八王子キャンパスに来校の際は、路線バスを利用してください。
：時刻表や所要時間を調べたうえで利用してください。

路線バス運行・遺失物に関するお問い合わせ　神奈川中央交通（株）多摩営業所　Tel. 042-678-6550
京王バス南（株）南大沢営業所　Tel. 042-677-1616

## 八王子キャンパスマップ




※食堂は⊠マークのある「グリーンホール」および「絵画東棟」です。

## 各種奨学金制度および授業料減免制度

2017年度 本学独自奨学金（すべて給付型）※予定

以下の本学独自の奨学金制度があります。一部を除き併願も可能です。

| 名称 | 出願できる者 | 年額 | 採用人数 |
|---|---|---|---|
| 学業成績優秀者奨学金 | 前年度学内成績優秀者（入学年度、博士後期課程学生は除く） | 20万円 | 約170名 |
| 特別優秀顕彰奨学金 | 学外活動等で顕著な実績をあげた者（入学年度、博士後期課程学生は除く） | 10万円 | 約30名 |
| ワークスタディ奨学金 | 経済的に修学困難な学生でJASSO等の奨学金を貸与中もしくは申請中であり授業の空き時間や休業期間に計画的に一定時間以上作業に従事できる者（博士後期課程学生は除く） | 24万円<br>（半期12万円×2） | 約25名 |
| 交換留学生奨学金 | 本学から海外協定校へ交換留学する者（学部１年生は除く） | 20万円 | 18名程度 |
| 大学院学修奨励制度<br>研究発表活動奨励金 | 本学の定める条件に合致している場合、申請により全員に給付 | 10万円 | 約280名 |
| 博士後期課程<br>研究活動奨励奨学金 | 本学の定める条件に合致している場合、申請により全員に給付<br>（在学延長者、国費留学生は除く） | 40万円 | 約20名 |
| 石間奨学金 | 大学の卒業間近かつ学業意欲のある、授業料に困窮をきたす最終学年の者 | 50万円 | 1名 |
| 多摩美術大学校友会奨学金 | 制作、研究活動に熱心で経済的助成を望む者 | 25万円 | 10名 |
| 多摩美術大学校友会<br>私費留学生奨学金 | 制作、研究活動に熱心で経済的助成を望む者（学部1・2年生は除く） | 10万円 | 5名程度 |

日本学生支援機構（JASSO）奨学金［貸与］は日本学生支援機構（http://www.jasso.go.jp）へ、民間団体奨学金［給付］については本学学生課（042-679-5606）へお問い合わせください。

2017年度 本学独自授業料減免制度　※予定

以下の本学独自の授業料減免制度があります。

| 名称 | 出願できる者 | 減免額 | 採用人数 |
|---|---|---|---|
| 緊急支援制度<br>（激甚災害については別途対応） | ◎主たる家計支持者の死亡や後遺障がいによる失職等<br>◎主たる家計支持者の家屋等が災害に遭い甚大な被害を受けた場合<br>いずれの場合もJASSO等の奨学金を貸与中もしくは申請中であること（新入生は後期より申請可能） | 年間授業料の半額減免<br>（後期申請者は半期授業料の半額減免） | 年間20名を限度 |
| 経済的支援授業料減免制度 | ◎前年度緊急支援制度適用者で家計収入の回復が見込めない場合<br>◎JASSO等の奨学金を貸与中であり、かつ経済的に修学困難な場合<br>いずれの場合も世帯収入等による審査あり（新入生は後期より申請可能、国費留学生は除く） | 半期授業料の20%減免<br>（半期毎に募集） | 年間約280名<br>（前・後期合計） |
| 兄弟姉妹授業料減免制度 | 本学の正規課程に同時に兄弟姉妹が在籍する場合<br>（一方が休学・留年した場合および留学生は除く） | それぞれ<br>年間授業料の20%減免 | 約50名 |
| 博士前期課程授業料減免制度 | ◎JASSO第一種奨学金予約採用者<br>◎学部在籍時にJASSO奨学金貸与者で進学後前期中にJASSO第一種奨学金の貸与を受けることとなった者<br>いずれの場合も世帯収入等による審査あり<br>（休学・留年した場合は除く） | 年間授業料の20%減免 | 約60名 |
| 私費外国人留学生授業料減免制度 | 仕送り119.999円以下で、かつ家賃61.999円以下（賃貸契約書で確認）の者。 2年次以上については、前年度学内成績の平均が2.0（B評価）以上の者（その他基準あり） | 年間授業料の20%減免 | 約120名 |

## 推薦入学試験　よくあるご質問について（Q&A）

### 出願にあたって

**Q　高校で「美術」の授業を履修していないのですが、出願することはできますか。**
A　出願資格（04ページ参照）を満たしていれば、履修した科目に関係なく受験できます。

**Q　既に高校を卒業しているのですが、出願できますか。**
A　推薦Ⅰ方式については既に高校を卒業された方でも出願できます。推薦Ⅱ方式については2016年3月に卒業した方であれば出願できます。なお、推薦Ⅱ方式の絵画学科油画専攻、グラフィックデザイン学科および生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻では、年度を問わず卒業した方であれば出願できます。ただし、推薦Ⅱ方式を出願される方は高等学校課程の出身学校長の推薦書（56ページ）が必要となります。詳細は04ページ「出願資格」を参照してください。

**Q　推薦入学試験で、複数の学科・専攻・コースを併願できますか。**
A　併願をすることはできません。

**Q　検定料の払込みはいつからできますか。**
A　10月11日（火）より受け付けます。

**Q　出願に必要な証明書はコピーでも可能でしょうか。**
A　コピーの提出は認めません。証明書の原本を提出してください。不明な場合は入学センターまでご連絡ください。

**Q　もし、推薦入学試験を不合格となった場合、一般入学試験は受験できますか。**
A　推薦入学試験の出願資格を満たしていれば一般入学試験でも出願可能です。

**Q　推薦入学試験の過去問題を見ることはできますか。**
A　2016年度の過去問題については推薦入学試験を実施した一部の学科ですが『入試ガイド2017』でご覧になれます。また、2015年度以前の推薦入学試験の過去問題については、本学ホームページ［http://www.tamabi.ac.jp/admission/data/past.htm］でご覧になれます。

**Q　出願後に願書へ記入した内容の変更は可能でしょうか。**
A　出願後の変更は原則できません。

**Q　入学試験の成績開示は行っていますか。**
A　推薦入学試験の成績開示は行っておりません。

### 入学手続きについて

**Q　やむを得ない事情が生じた場合、入学手続きの延長は認められますか。**
A　どのような理由であっても、入学手続きの延期は認められません。

### 大学資料について

**Q　大学資料にはどのようなものがありますか。また、請求の方法を教えてください。**
A　『大学案内2017』、『入試ガイド2017』『トナトリエ（入試広報誌）』等があります。
請求の方法は、テレメール（電話→050-8601-0101、パソコンサイト→http://telemail.jp）、郵便（住所、氏名（フリガナ）、電話番号と希望資料名を明記のうえ、〒192-0394 東京都 八王子市 鑓水 2-1723　多摩美術大学　入学センター宛に送付）、大学窓口やイベント会場での配布があります。海外より請求する場合は、事前にnyushi@tamabi.ac.jpまでメールでお問い合わせください。

# 2017年度　美術学部推薦入学試験カレンダー

| 学科・専攻・コース | 出願期間 | 出願時における提出物 | 1次選考 11/7（月） 13：00 本学ウェブサイト発表 | 選択科目 | 試験日 11/12（土） | 試験日 11/13（日） | 面接試験に提出・持参する作品 | 合格発表 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 絵画学科　日本画専攻 | 出願期間 10月17日（月）から10月26日（水）まで（郵送必着） | ポートフォリオ | | | 水彩「人物」 10:00 ～ 17:10 | 面接 13:00 ～ 16:00 | 絵画作品（面接試験時） | 合格発表 11月17日（木） 13時00分 |
| 絵画学科　油画専攻 | | ポートフォリオ | | | ※11月11日（金）・12日（土）作品提出 | 面接 時間は作品提出時に指示 | 作品（11月11・12日提出） | |
| 絵画学科　版画専攻 | | | | | 小論文 10:00 ～ 11:30 デッサン「静物」 13:00 ～ 17:00 | 面接 時間は試験初日に指示 | 作品（面接試験時） | |
| 彫刻学科 | | 作品資料 | | | 小論文 10:00 ～ 11:30 立体造形・デッサン 13:00 ～ 17:30 | 面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 工芸学科 | | 資料 | | | 小論文 10:00 ～ 11:30 鉛筆デッサン 13:00 ～ 17:00 | 面接 時間は試験初日に指示 | | |
| グラフィックデザイン学科 | | | | | クリエイティビティ テスト（スケッチ十テキスト） 9:30 ～ 11:30 鉛筆デッサン 12:40 ～ 17:40 | 色彩構成 10:00 ～ 16:10 | | |
| 生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 | | | | A | アイデア／プロセス 10:00 ～ 13:00 | プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示 | | |
| | | | | B | スケッチ／デッサン 10:00 ～ 13:00 | プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 生産デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻 | | | | A | 小論文（テキスタイルデザイン専攻専門試験） 10:30 ～ 12:00 鉛筆デッサン 13:00 ～ 16:00 | 面接 時間は試験初日に指示 | 作品（面接試験時） | |
| | | | | B | 小論文（テキスタイルデザイン専攻専門試験） 10:30 ～ 12:00 色彩構成 13:00 ～ 16:00 | 面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 環境デザイン学科 | | | | | 小論文（環境デザイン学科専門試験） 10:00 ～ 11:00 空間デザイン 12:00 ～ 17:00 | プレゼンテーション面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 情報デザイン学科（メディア芸術コース）（情報デザインコース） | | オンラインポートフォリオのURL | 書類・オンラインポートフォリオにより選考 | | 面接 時間は1次選考合否発表時に通知 | | デジタルメディア作品あるいはデジタルポートフォリオ（面接試験時） | |
| 芸術学科 | | 課題 | | | 小論文（芸術学科専門試験） 10:00 ～ 11:30 面接 13:00 ～ | | | |
| 統合デザイン学科 | | 自己アピール書類 | | | 英語 10:00 ～ 11:00 小論文（問題解決型） 11:30 ～ 13:30 | 面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 演劇舞踊デザイン学科（演劇舞踊コース） | | | | | 小論文 10:00 ～ 11:30 身体表現 13:00 ～ 17:00 | 面接 時間は試験初日に指示 | | |
| 演劇舞踊デザイン学科（劇場美術デザインコース） | | ポートフォリオ | | | | 鉛筆デッサン 10:00 ～ 13:00 面接 14:00 ～ 18:00 | 作品（面接試験時） | |

## 各学科専攻ごとの出願書類・送付方法

| 学科・専攻・コース | 出願書類 | | | | | | | | | | (任意) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入学願書 | 受験票・受験票発行控・振替払込請求書兼受領書コピー貼付 | 履歴書 | 志望理由書 | 自己アピール文 | 誓約書 | 推薦書 | 提出物作成自己証明書 | 宛名記入用紙 | 調査書 | 志願者アンケート | 封筒表面用紙 | 資料・事前課題・ポートフォリオ等 | 送付する封筒等 ※ |
| 絵画学科　日本画専攻 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | ご協力をお願いいたします（任意） | 出願書類等を入れた封筒等表面に貼付 | ＋ ●ポートフォリオ → | A |
| 絵画学科　油画専攻 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●ポートフォリオ → | A |
| 絵画学科　版画専攻 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | | | → | B |
| 彫刻学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●作品資料 → | A |
| 工芸学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●資料 → | A |
| グラフィックデザイン学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | − | ○ | ○ | | | → | B |
| 生産デザイン学科<br>プロダクトデザイン専攻 | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | | | → | B |
| 生産デザイン学科<br>テキスタイルデザイン専攻 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | → | B |
| 環境デザイン学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | − | ○ | ○ | | | → | B |
| 情報デザイン学科<br>（メディア芸術コース）<br>（情報デザインコース） | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●オンラインポートフォリオ（URL情報） → | B |
| 芸術学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●課題 → | A |
| 統合デザイン学科 | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●自己アピール書類 → | A |
| 演劇舞踊デザイン学科<br>（演劇舞踊コース） | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | ○ | − | ○ | ○ | | | → | B |
| 演劇舞踊デザイン学科<br>（劇場美術デザインコース） | ○ | ○ | ○ | ○ | − | ○ | − | ○ | ○ | ○ | | | ＋ ●ポートフォリオ → | A |

送付する封筒等※

A＝マチ付封筒（ゆうぱっく・袋（小）等推奨）

B＝任意の角 2 サイズ以上の封筒